

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位  
 対象学年組：第3学年 1組～8組  
 教科担当者：(組： ) (組： ) (組： ) (組： ) (組： ) (組： )  
 使用教科書：(文学国語(筑摩書房) )

- 教科 国語 の目標：  
 【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。  
 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

| 科目 文学国語 の目標： | 【知識及び技能】               | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--------------|------------------------|--|---|
|              | 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深める。 | 言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 |

|  | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 領域  |   |  | 評価規準   | 知 | 思 | 態  | 配当<br>時数 |
|--|--|---|-----|---|--|--|---|---|----|----------|
|  |  |   | 話・聞 | 書 | 読  |  |   |   |    |          |
| 1<br>学<br>期  | 「舞姫」<br>【知識及び技能】<br>言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>音読を取り入れることによって、明治の文語文が持つ魅力について理解を深める。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>発表の態度を積極的にして、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方を深めさせる。                            | ・指導事項<br>・豊太郎とエリスの間に何があったのか、語りの時制や文体・時代背景なども意識して、物語を読み味わう。<br>・夏目漱石「こころ」と読み比べて、「明治」という時代の特徴について話し合う。<br>・教材<br>新国語総合ガイド・現代文単語げんたん 改訂版・一人1台端末の活用等<br>Classi Note他                          | ○   | ○ | ○  | 【知識・技能】<br>「舞姫」における文語文法の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・「舞姫」の内容や構成を踏まえて、展開や描写の仕方などを的確に捉えている。<br>・「舞姫」の語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について理解することを通して、内容を解釈出来ている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>「舞姫」の読解を通して、人間や社会などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。  | ○ | ○ | ○  | 10       |
|  | 定期考査   |   |     | ○ | ○  |  | ○ | ○ |    | 1        |
|  | 「陰翳礼讃」<br>【知識及び技能】<br>日常生活に潜む「陰翳」の効果について、どのような表現が用いられているか整理し、筆者の美意識を確認する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>現代日本人の生活において、陰翳のあり方がどのように変容しているかを考察させる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>発表の態度を積極的にして、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方を深めさせる。 | ・指導事項<br>・文学者らしい視角から、漆器に秘められた筆者の美意識を考察する。<br>・「闇」が効果的な働きをしている日常生活の例を挙げ、筆者の「闇」に対する考え方をまとめる。<br>・他に筆者による日本文化論にはどのようなものがあるか、調べる。<br>・教材<br>新国語総合ガイド・現代文単語げんたん 改訂版・一人1台端末の活用等<br>Classi Note他 | ○   | ○ | ○  | 【知識・技能】<br>「陰翳礼讃」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>【思考・判断・表現】<br>・「陰翳礼讃」と他の筆者による日本文化論と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。<br>・「陰翳礼讃」の語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について理解することを通して、内容を解釈出来ている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>「陰翳礼讃」の読解を通して、人間や社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 | ○ | ○ | ○  | 10       |
|  | 定期考査   |   |     |   | ○  | ○  |   | ○ | ○  | 1        |
| 「絵画は紙幣に憧れる」<br>【知識及び技能】<br>表題に使われている「擬人法」や、文学的なレトリックを駆使した文章を読み解かせる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>紙幣論と絵画論を組み合わせて論を展開しており、価値について考えさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>発表の態度を積極的にして、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方を深めさせる。 | ・指導事項<br>対比の視点を明確に整理させることで、物事の特徴を明らかにするという二項対立の働きを理解させる。<br>個々の具体例の意味を捉えさせ、論の展開における具体と抽象の関係を理解させる。<br>客観的な規則による美と、状況を感性で捉える美の違いを理解させる。<br>・教材<br>新国語総合ガイド・現代文単語げんたん 改訂版・一人1台端末の活用等<br>Classi Note他   | ○   | ○   | ○ | 【知識・技能】<br>読解を通して、本教材に用いられている語句や語彙を正確に理解しできる。<br>【思考・判断・表現】<br>・評論文という文章の種類を踏まえ、内容や構成、論理の展開などについての的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。<br>・「絵画は紙幣に憧れる」の読解を通して、文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>「陰翳礼讃」の読解を通して、人間や社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 | ○  | ○ | ○ | 10 |          |
| 定期考査   |  |   |     | ○ | ○  |  | ○ | ○ | 1  |          |



年間授業計画

高等学校 令和8年度 (3学年用) 教科 国語 科目 理系古典演習

教科: 国語 科目: 理系古典演習 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組 ~ 8 組

教科担当者: ( 組: ) ( 組: ) ( 組: ) ( 組: ) ( 組: )

使用教科書: ( 大学共通テスト実践演習『古文・漢文編』改訂版 (数研出版) )

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 理系古典演習 の目標:

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】                        | 【学びに向かう力、人間性等】                          |
|---|---------------------------------------|---|
| 古典作品読解に必要な力を身につけるために、古語単語を習得し、古典文法を理解する。また、漢文重要語を習得し、漢文句法を理解する。 | 古典作品の読解について、大学共通テストに十分対応できる実践力を身につける。 | 自主的に基本事項の確認や演習問題に取り組み、実践力を高めようとする態度を養う。 |

|             | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容  | 領域  |   |   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |
|-------------|--|--|-----|---|---|---|---|---|---|------------------|
|             |  |  | 話・聞 | 書 | 読 |   |   |   |   |                  |
| 1<br>学<br>期 | 演習を中心にした基本事項の確認<br>古文第1～3回<br>漢文第1～3回<br>【知識及び技能】<br>・文書に用いられている語句の意味、文法事項及び背景知識を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>文章の内容や構成、展開を的確に捉える。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>文章の読解を通して、思考を深める。 | ・指導事項<br>二年次までの古文並びに漢文必要事項の確認を行う。また、解答までに必要な思考力や知識の体系化をはかる。<br><br>・教材<br>体系古典文法<br>古文単語330<br>新明説漢文<br><br>・一人1台端末の活用等<br>Classi Note他  | ○   | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>・古文単語や文法事項、漢文の重要語や句法が身につけている。<br>【思考・判断・表現】<br>身につけた知識を踏まえて、内容や構成、展開についての的確に捉えている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>教材の内容に関心を持ち、今後の学習に見通しをもって取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 12               |
|             | 定期考査   |  | ○   | ○ |   | ○   | ○ |   | 1 |                  |
|             | 演習を中心にした基本事項の確認<br>古文第4～6回<br>漢文第4～6回<br>【知識及び技能】<br>・文書に用いられている語句の意味、文法事項及び背景知識を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>文章の内容や構成、展開を的確に捉える。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>文章の読解を通して、思考を深める。 | ・指導事項<br>二年次までの古文並びに漢文の必要事項の確認を行う。また、解答までに必要な思考力や知識の体系化をはかる。<br><br>・教材<br>体系古典文法<br>古文単語330<br>新明説漢文<br><br>・一人1台端末の活用等<br>Classi Note他 | ○   | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>・古文単語や文法事項、漢文の重要語や句法が身につけている。<br>【思考・判断・表現】<br>身につけた知識を踏まえて、内容や構成、展開についての的確に捉えている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>教材の内容に関心を持ち、今後の学習に見通しをもって取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 12               |
| 定期考査        |  |  | ○   | ○ |   | ○   | ○ |   | 1 |                  |



年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 国語 科目 古典演習Ⅰ・Ⅱ

教科：国語 科目：古典演習Ⅰ・Ⅱ 単位数：4 単位  
 対象学年組：第3学年 1組～8組  
 教科担当者：(組： ) (組： ) (組： ) (組： ) (組： )  
 使用教科書：(「古典探究」(筑摩書房)「新国語総合ガイド 四訂版」(啓隆社) )

教科 国語 の目標：  
 【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。  
 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

| 科目 古典演習Ⅰ・Ⅱ の目標： | 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|-----------------|--|--|---|
|                 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。 | 論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。 |

|             | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 領域  |   |   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |
|-------------|--|---|-----|---|---|--|---|---|---|------------------|
|             |  |   | 話・聞 | 書 | 読 |  |   |   |   |                  |
| 1<br>学<br>期 | ○古文<br>日記<br>『紫式部日記』<br>『和泉式部日記』<br><br>○漢文<br>逸話<br>『列氏』<br>「愚公移山」                        | ○古文<br>①日記の読解<br>・古語・古典文法の習得<br>・敬語の用法<br>・和歌の修辞と作者の心情<br>②日記文学の理解<br>・文学史<br>○漢文<br>①老荘思想の理解<br>②句法(使役、比較、反語)の理解<br>○入試問題演習  | ○   | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めることができる。<br>【思考・判断・表現】<br>・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。        | ○ | ○ | ○ | 24               |
|             | 定期考査   |   |     | ○ | ○ |  | ○ | ○ |   | 1                |
|             | ○古文<br>物語一<br>『源氏物語』<br>「車争ひ」<br>評論一<br>『古今和歌集』仮名序<br><br>○漢文<br>文章一<br>『捕蛇者説』<br>漢詩 古体詩数編 | ○古文<br>①源氏物語の読解<br>・古典文法のまとめ、暗唱<br>・敬語法のまとめ<br>②和歌の理解<br>・和歌の本質と歴史的意義の理解<br>○漢文<br>①古体詩の理解<br>②物語の読解<br>・句法のまとめ、暗唱<br>○入試問題演習 | ○   | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めることができる。<br>【思考・判断・表現】<br>・読解を通して、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 40               |
| 定期考査        |  |   |     | ○ | ○ |  | ○ | ○ |   | 1                |

|             |   |  |   |   |   |   |   |   |     |    |
|-------------|---|--|---|---|---|---|---|---|-----|----|
| 2<br>学<br>期 | ○古文<br>・評論一『無名抄』<br>・物語二『大鏡』（二）<br>「菅公配流」 | ○古文<br>①評論（歌論書）の読解<br>1、和歌・詠歌の心得、表現の理解<br>2、古典文法の完成<br>②歴史書の読解<br>1、和歌、漢詩と心情の理解<br>2、古典文法のまとめ、暗唱<br>○漢文<br>①同題材作品の読み比べ<br>②小説の読解<br>1、句法のまとめ<br>2、暗唱 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>・用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。<br>【思考・判断・表現】<br>・成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。 | ○ | ○ | ○   | 34 |
|             | 定期考査                                      |  |   | ○ | ○ |   | ○ | ○ |     | 1  |
|             | 大学入学共通テスト対策問題演習<br>大学入学試験過去問題演習           | 問題集教材を中心に、二年次までの古文並びに漢文必要事項、確認を行う。また、解答までに必要な思考力や知識の体系化をはかる。   | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>・古典の知識を活用して、文章の内容を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・文章の構成、展開についての確に捉え、他の作品と比較することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・教材の内容に関心を持ち、今後の学習に見通しをもって取り組んでいる。  | ○ | ○ | ○   | 40 |
| 定期考査        |   |  |   | ○ | ○ |   | ○ | ○ |     | 1  |
| 3<br>学<br>期 | 大学入学共通テスト対策問題演習<br>大学入学試験過去問題演習           | 問題集教材を中心に、二年次までの古文並びに漢文必要事項、確認を行う。また、解答までに必要な思考力や知識の体系化をはかる。   | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>・古典の知識を活用して、文章の内容を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・文章の構成、展開についての確に捉え、他の作品と比較することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・教材の内容に関心を持ち、今後の学習に見通しをもって取り組んでいる。  | ○ | ○ | ○   | 13 |
|             | 定期考査                                      |  |   |   | ○ | ○   |   | ○ | ○   | 1  |
| 合計          |   |  |   |   |   |   |   |   | 156 |    |

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 国語 科目 現代文演習

教科：国語 科目：現代文演習 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組  
 教科担当者：( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： )  
 使用教科書：( )

教科 国語 の目標：  
 【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能、現代文入試に対応できる力を身につけるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、現代文入試に対応できる記述力を身につける。  
 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 科目 現代文演習                           | の目標：  |
| 【知識及び技能】<br>実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。 | 【思考力、判断力、表現力等】<br>「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分のものの見方を広げ、考えを深める。 |
|                                    | 【学びに向かう力、人間性等】<br>言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深める。       |

|             | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 領域 |   | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|-------------|--|---|----|---|------|---|---|---|----------|
|             |  |   | 書  | 読 |      |   |   |   |          |
| 1<br>学<br>期 | 問題演習を通して、<br>論理的文章の読み方<br>文学的文章の読み方の確認<br>【知識および技能】<br>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答える。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考える。 | ・指導事項<br>国語の入試問題を解くための、論旨の把握の仕方等、基礎的な読解力を養成する。<br>・教材<br>「四訂版 プログレス 現代文演習 完成編」<br>・一人一台端末の活用等<br>classinote他    | ○  | ○ | ○    |   |   |   | 6        |
|             | 問題演習を通して、<br>記述問題の答え方<br>選択問題の考え方の確認<br>【知識および技能】<br>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答える。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考える。   | ・指導事項<br>国語の入試問題を解くための、論旨の把握の仕方等、基礎的な読解力を養成する。<br>・教材<br>「四訂版 プログレス 現代文演習 完成編」<br>・一人一台端末の活用等<br>classinote他    | ○  | ○ | ○    |   |   |   | 6        |
|             | 中間考査   |   |    | ○ | ○    |   |   |   | 1        |
|             | 問題演習を通して、<br>記述問題の答え方<br>選択問題の考え方の確認<br>【知識および技能】<br>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答える。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考える。   | ・指導事項<br>国語の入試問題演習を通して、記述力の養成、選択問題正解の導き出し方等を確認する。<br>・教材<br>「四訂版 プログレス 現代文演習 完成編」<br>・一人一台端末の活用等<br>classinote他 |    |   |      |   |   |   | 6        |

|   |   |  |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1<br>学<br>期   | <p>問題演習を通して、記述問題の答え方<br/>選択問題の考え方の確認</p> <p>【知識および技能】<br/>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考える。</p>   | <p>・指導事項<br/>国語の入試問題演習を通して、記述力の養成、選択問題正解の導き出し方等を確認する。</p> <p>・教材<br/>「四訂版 プログレス 現代文演習 完成編」<br/>・各大学過去入試問題</p> <p>・一人一台端末の活用等<br/>classinote他</p>                       |   |   | <p>【知識および技能】<br/>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答えられている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考え、論文作成、発表等を行う。</p> | ○   | ○ | ○ | 6 |   |
|   | 期末考査  |  | ○ | ○ |   | ○   | ○ |   | 1 |   |
| 2<br>学<br>期   | <p>入試問題演習を通して、記述問題の答え方<br/>選択問題の考え方の確認</p> <p>【知識および技能】<br/>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考える。</p> | <p>・指導事項<br/>国語の入試問題演習を通して、記述力の養成、選択問題正解の導き出し方等を確認する。</p> <p>・教材<br/>「四訂版 プログレス 現代文演習 完成編」<br/>・各大学過去入試問題</p> <p>・一人一台端末の活用等<br/>classinote他</p>                       | ○ | ○ | ○   | <p>【知識および技能】<br/>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答えられている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考え、論文作成、発表等を行う。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
|   | <p>入試問題演習を通して、記述問題の答え方<br/>選択問題の考え方の確認</p> <p>【知識および技能】<br/>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考える。</p> | <p>・指導事項<br/>国語の入試問題演習を通して、記述力の養成、選択問題正解の導き出し方等を確認する。</p> <p>・教材<br/>「四訂版 プログレス 現代文演習 完成編」<br/>・各大学過去入試問題</p> <p>・一人一台端末の活用等<br/>classinote他</p>                       | ○ | ○ | ○   | <p>【知識および技能】<br/>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答えられている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考え、論文作成、発表等を行う。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
|   | 中間考査  |  | ○ | ○ |   | ○   | ○ |   | 1 |   |
|   | <p>入試問題演習を通して、記述問題の答え方<br/>選択問題の考え方の確認</p> <p>【知識および技能】<br/>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考える。</p> | <p>・指導事項<br/>大学共通テスト対応の問題演習を通して、選択問題正解の導き出し方等を確認する。</p> <p>・教材<br/>「四訂版 プログレス 現代文演習 完成編」<br/>「2026共通テスト対策【実力養成】重要問題演習現代文」(進研学参)</p> <p>・一人一台端末の活用等<br/>classinote他</p> | ○ | ○ | ○   | <p>【知識および技能】<br/>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答えられている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考え、論文作成、発表等を行う。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| <p>入試問題演習を通して、記述問題の答え方<br/>選択問題の考え方の確認</p> <p>【知識および技能】<br/>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考える。</p> | <p>・指導事項<br/>大学共通テスト対応の問題演習を通して、選択問題正解の導き出し方等を確認する。</p> <p>・教材<br/>「四訂版 プログレス 現代文演習 完成編」<br/>「2026共通テスト対策【実力養成】重要問題演習現代文」(進研学参)</p> <p>・一人一台端末の活用等<br/>classinote他</p>  | ○  | ○ | ○ | <p>【知識および技能】<br/>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答えられている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考え、論文作成、発表等を行う。</p> | ○   | ○ | ○ | 8 |   |
| 期末考査  |   | ○  | ○ |   | ○   | ○   |   | 1 |   |   |

|         |   |  |       |   |   |   |   |    |
|---------|---|--|-------|---|---|---|---|----|
| 3<br>学期 | <p>入試問題演習を通して、記述問題の答え方、選択問題の考え方の確認。共通テスト後は難関国公立大対策、難関私立大対策演習を行う。</p> <p>【知識および技能】<br/>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考える。</p> | <p>・指導事項<br/>大学共通テスト対応の問題演習を通して、選択問題正解の導き出し方等を確認する。<br/>その後は難関大入試対策を行う。</p> <p>・教材<br/>「2026共通テスト対策【実力養成】重要問題演習現代文」（進研学参）</p> <p>・一人一台端末の活用等<br/>classinote他</p> | ○ ○ ○ | <p>【知識および技能】<br/>テーマに関する知識、現代文単語の意味、文学史等を、理解し身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>文章構成、内容、要旨等を的確に捉え、出題の意図を理解した上で設問に答えられている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>作品が内包するテーマについて理解を深め、問題点・原因・解決策等を考え、論文作成、発表等を行う。</p> | ○ | ○ | ○ | 20 |
|---------|---|--|-------|---|---|---|---|----|

合計  
78



高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史

教科： 地理歴史 科目： 世界史 単位数： 4 単位  
 対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組  
 教科担当者： ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： )  
 使用教科書： ( 山川出版社「詳説世界史」 )

- 教科 地理歴史 の目標：
- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会を実現するための課題を主体的に解決しようとする態度を養う。日本や他国の文化を尊重することの大切さを自覚し、深める。

科目 世界史 の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|--|---|
| 世界の成り立ちを理解するのに必要な各地域・国の歴史と交流について、西洋史を中心に基本的な知識を身につける。 | 歴史上の出来事について、その原因や影響を探究することにより思考力・判断力を培う。また、自分の考えを表明したり論述することにより表現力を養う。 | 歴史に興味を持ち、現代の様々な問題を理解するカギになることに気付く。また、他国・他地域の文化を学ぶことによってグローバルな世界観を身につける。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|---|---|---|---|---|----------|
| 第8章：東アジア世界の展開とモンゴル帝国<br>第9章：大交易・大交流の時代<br><br>【知識及び技能】<br>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、授業中のメモを通じて理解する。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、能動的に歴史を考察し表現する。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>周辺の生徒同士の対話を通じて歴史を主体的に学び、現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる人になろう。 | ・指導事項<br>1 アジア諸民族の独立と宋<br>2 モンゴルの大帝国<br>3 アジア交易世界の交流<br>4 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容<br><br>・教材<br>教科書・資料集・授業レジュメ・確認テスト・短文論述<br><br>・一人1台端末の活用等<br>Classi Note(Questへの取り組み)   | 【知識・技能】<br>東アジアにおける「ユーラシア型国家」の展開と宋・契丹・モンゴルの大帝国などについて、日本の動向を含め理解する。アジア・アフリカ・ヨーロッパ・アメリカの諸大陸が、歴史上初めてつながるその背景について理解する。<br><br>【思考・判断・表現】<br>東アジアにおける「ユーラシア型国家」の展開と宋・契丹・モンゴルの大帝国などについて、日本の動向を含め理解する。アジア・アフリカ・ヨーロッパ・アメリカの諸大陸が、歴史上初めてつながるその背景について理解したうえでその歴史的な背景を考察する。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業では必要なことを必ずメモする習慣をつけ、周辺の生徒どうしの対話を通じて、世界史の授業内容を能動的に学び、歴史を通じて現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる。 | ○ | ○ | ○ | 14       |
| 定期考査   |   |   | ○ | ○ | ○ | 1        |
| 第10章：アジア諸帝国の繁栄<br>第11章：近世ヨーロッパ世界の動向<br><br>【知識及び技能】<br>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、授業中のメモを通じて理解する。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、能動的に歴史を考察し表現する。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>周辺の生徒同士の対話を通じて歴史を主体的に学び、現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる人になろう。    | ・指導事項<br>1 オスマン帝国とサファヴィー朝<br>2 ムガル帝国の興隆<br>3 清代の中国と隣接諸地域<br>4 ルネサンス<br>5 宗教改革<br>6 主権国家体制の成立<br>7 オランダ・イギリス・フランスの台頭<br>8 北欧・東欧の動向<br>9 科学革命と啓蒙思想<br><br>・教材<br>教科書・資料集・授業レジュメ・確認テスト・短文論述<br><br>・一人1台端末の活用等<br>Classi Note(Questへの取り組み) | 【知識・技能】<br>アジアの近世帝国の歴史的特徴と展開過程を、中世までの歴史を踏まえ理解する。いっぽう、それとは異なる近世国家を形成したヨーロッパの社会経済的状況について、思想面に着目しながら理解する。<br><br>【思考・判断・表現】<br>アジアの近世帝国の歴史的特徴と展開過程を、中世までの歴史を踏まえて理解し考察する。いっぽう、それとは異なる近世国家を形成したヨーロッパの社会経済的状況について、思想面に着目しながら検討および考察し、表現する。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業では必要なことを必ずメモする習慣をつけ、周辺の生徒どうしの対話を通じて、世界史の授業内容を能動的に学び、歴史を通じて現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる。                            | ○ | ○ | ○ | 36       |
| 定期考査   |   |   | ○ | ○ | ○ | 1        |

|             |  |  |   |   |   |    |     |
|-------------|--|--|---|---|---|----|-----|
| 2<br>学<br>期 | <p>第12章：産業革命と環大西洋革命第13章：イギリスの優位と欧米国民国家の形成</p> <p>【知識及び技能】<br/>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、授業中のメモを通じて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、能動的に歴史を考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>周辺の生徒同士の対話を通じて歴史を主体的に学び、現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる人になろう。</p> | <p>・指導事項<br/>1 産業革命<br/>2 アメリカ合衆国の独立と発展<br/>3 フランス革命とナポレオンの支配<br/>4 中南米諸国の独立<br/>5 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動<br/>6 アメリカ合衆国の発展<br/>7 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄</p> <p>・教材<br/>教科書・資料集・授業レジュメ・確認テスト・短文論述</p> <p>・一人1台端末の活用等<br/>Classi Note(Questへの取り組み)</p> | <p>【知識・技能】<br/>産業革命とフランス革命という大きな変革が、ヨーロッパと世界に与えた影響について理解する。また、ラテンアメリカ社会の形成について理解すると同時に、ヨーロッパにおける国民国家形成の特徴と功罪両面を理解する。これらの背景に存在する科学と思想的な側面について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>産業革命とフランス革命という大きな変革が、ヨーロッパと世界に与えた影響について理解したうえで考察する。また、ラテンアメリカ社会の形成について理解し考察すると同時に、ヨーロッパにおける国民国家形成の特徴と功罪両面を検討及び考察する。また、これらの背景に存在する科学と思想的な側面について考え、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>授業では必要なことを必ずメモする習慣をつけ、周辺の生徒どうしの対話を通じて、世界史の授業内容を能動的に学び、歴史を通じて現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる。</p> | ○ | ○ | ○  | 30  |
|             | 定期考査   |  |   | ○ | ○ | ○  | 1   |
|             | <p>第14章：アジア諸地域の動揺<br/>第15章：帝国主義とアジアの民族運動</p> <p>【知識及び技能】<br/>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、授業中のメモを通じて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、能動的に歴史を考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>周辺の生徒同士の対話を通じて歴史を主体的に学び、現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる人になろう。</p>  | <p>・指導事項<br/>1 西アジア地域の変容<br/>2 南アジア・東南アジアの植民地化<br/>3 東アジアの激動<br/>4 第2次産業革命と帝国主義<br/>5 アジアの民族運動</p> <p>・教材<br/>教科書・資料集・授業レジュメ・確認テスト・短文論述</p> <p>・一人1台端末の活用等<br/>Classi Note(Questへの取り組み)</p>  | <p>【知識・技能】<br/>欧米諸国の進出にともなうアジア諸地域の対応について理解する。第2次産業革命の進展による欧米諸国の帝国主義化と世界分割について理解する。さらに、アジアにおける民族運動の実際を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>欧米諸国の進出にともなうアジア諸地域の対応について理解したうえで考察する。第2次産業革命の進展による欧米諸国の帝国主義化と世界分割について理解し考察する。さらに、アジアにおける民族運動の実際について検討及び考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>授業では必要なことを必ずメモする習慣をつけ、周辺の生徒どうしの対話を通じて、世界史の授業内容を能動的に学び、歴史を通じて現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる。</p>  | ○ | ○ | ○  | 32  |
| 定期考査        |  |  | ○   | ○ | ○ | 1  |     |
| 3<br>学<br>期 | <p>共通テストに向けた演習<br/>論述対策（個別指導）</p> <p>【知識及び技能】<br/>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、授業中のメモを通じて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、能動的に歴史を考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>周辺の生徒同士の対話を通じて歴史を主体的に学び、現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる人になろう。</p>             | <p>・指導事項<br/>共通テストの過去問や予想問題を解き、知識や思考力の確認を行う。また個別で国公立大学二次試験や私大の入試問題をを用いた論述対策を行う。</p> <p>・教材<br/>教科書・資料集・授業レジュメ・確認テスト・短文論述</p> <p>・一人1台端末の活用等<br/>Classi Note(Questへの取り組み)</p>   | <p>【知識・技能】<br/>他教科とのバランスを常に意識して、これまで学んだ基本的な知識を網羅的に理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>他教科とのバランスを常に意識して、これまで学んだ基本的な知識を網羅的に理解した上で考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>授業では必要なことを必ずメモする習慣をつけ、周辺の生徒どうしの対話を通じて、世界史の授業内容を能動的に学び、歴史を通じて現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる。</p>   | ○ | ○ | ○  | 40  |
|             |  |  |   |   |   | 合計 | 156 |

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 地理歴史 科目 世界史特講

教科: 地理歴史 科目: 世界史特講 単位数: 2 単位  
 対象学年組: 第 3 学年 1 組～ 8 組  
 教科担当者: ( 組: ) ( 組: ) ( 組: ) ( 組: ) ( 組: )  
 使用教科書: ( 山川出版社「詳説世界史」 )

- 教科 地理歴史 の目標:
- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会を実現するための課題を主体的に解決しようとする態度を養う。日本や他国の文化を尊重することの大切さを自覚し、深める。

科目 世界史特講 の目標:

| 【知識及び技能】                            | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|-------------------------------------|---|---|
| 世界史で用いられる語句の意味や定義を理解する力を十分に身に付けている。 | 歴史的事項の解釈に向けて、自分の意見や他者の意見を聞きながら合意形成をする力を十分に身に付けている。歴史的事項の解決に向け、問題の本質を理解し解決の方法について十分に考察できている。 | 民主社会を構成する市民として、歴史的な知識や思考法を踏まえて、積極的に社会の諸問題の解決に向けて考察し周辺の生徒と対話する態度を十分に身に付けている。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|--|--|---|---|---|----------|
| 第15章：帝国主義とアジアの民族運動<br>第16章：第一次世界大戦と世界の変容<br>【知識及び技能】<br>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、授業中のメモを通じて理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、能動的に歴史を考察し表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>周辺の生徒同士の対話を通じて歴史を主体的に学び、現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる人になろう。      | ・指導事項<br>1 第2次産業革命と帝国主義<br>2 列強の世界分割と列強体制の二分化<br>3 アジア諸国の変革と民族運動<br>4 第一次世界大戦とロシア革命<br>・教材<br>教科書・資料集・授業レジュメ・確認テスト・短文論述<br>・一人1台端末の活用等<br>Classi Note(Questへの取り組み) | 【知識・技能】<br>ヨーロッパを中心とした「世界」が形成されていく過程を把握するとともに、アジア・アフリカなどの動向にも注目する。第一次世界大戦が世界に与えた衝撃と現代世界との関係を理解する。<br>【思考・判断・表現】<br>ヨーロッパを中心とした「世界」が形成されていく過程を把握するとともに、アジア・アフリカなどの動向にも注目する。第一次世界大戦が世界に与えた衝撃を理解した上で考察し、現代世界との関係表現する。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業では必要なことを必ずメモする習慣をつけ、周辺の生徒どうしの対話を通じて、世界史の授業内容を能動的に学び、歴史を通じて現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる。 | ○ | ○ | ○ | 8        |
| 第16章：第一次世界大戦と世界の変容<br>第17章：第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成<br>【知識及び技能】<br>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、授業中のメモを通じて理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、能動的に歴史を考察し表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>周辺の生徒同士の対話を通じて歴史を主体的に学び、現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる人になろう。 | ・指導事項<br>1 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国<br>2 アジア・アフリカ地域の民族運動<br>・教材<br>教科書・資料集・授業レジュメ・確認テスト・短文論述<br>・一人1台端末の活用等<br>Classi Note(Questへの取り組み)                                      | 【知識・技能】<br>戦間期の世界について、地域ごとの特徴を踏まえて理解する。第二次世界大戦にいたる歴史的脈絡と、その影響について理解する。<br>【思考・判断・表現】<br>戦間期の世界について、地域ごとの特徴を踏まえて理解し考察する。第二次世界大戦にいたる歴史的脈絡と、その影響について理解し考察したうえで自分の考えを表現する。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業では必要なことを必ずメモする習慣をつけ、周辺の生徒どうしの対話を通じて、世界史の授業内容を能動的に学び、歴史を通じて現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる。   | ○ | ○ | ○ | 8        |
| 定期考査  |  |  | ○ | ○ | ○ | 1        |
| 第17章：冷戦と第三世界の台頭<br>【知識及び技能】<br>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、授業中のメモを通じて理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、能動的に歴史を考察し表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>周辺の生徒同士の対話を通じて歴史を主体的に学び、現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる人になろう。                               | ・指導事項<br>3 第二次世界大戦<br>4 新しい国際秩序の形成<br>・教材<br>教科書・資料集・授業レジュメ・確認テスト・短文論述<br>・一人1台端末の活用等<br>Classi Note(Questへの取り組み)  | 【知識・技能】<br>戦間期の世界について、地域ごとの特徴を踏まえて理解する。第二次世界大戦にいたる歴史的脈絡と、その影響について理解する。<br>【思考・判断・表現】<br>戦間期の世界について、地域ごとの特徴を踏まえて理解し考察する。第二次世界大戦にいたる歴史的脈絡と、その影響について理解し考察したうえで自分の考えを表現する。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業では必要なことを必ずメモする習慣をつけ、周辺の生徒どうしの対話を通じて、世界史の授業内容を能動的に学び、歴史を通じて現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる。   | ○ | ○ | ○ | 8        |
| 定期考査  |  |  | ○ | ○ | ○ | 1        |

|             |  |   |  |   |   |    |    |
|-------------|--|---|--|---|---|----|----|
| 2<br>学<br>期 | <p>第18章：冷戦と第三世界の台頭</p> <p>【知識及び技能】<br/>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、授業中のメモを通じて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、能動的に歴史を考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>周辺の生徒同士の対話を通じて歴史を主体的に学び、現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる人になろう。</p>            | <p>・指導事項<br/>1 冷戦の展開<br/>2 第三世界の展開とキューバ危機<br/>3 冷戦体制の動揺</p> <p>・教材<br/>教科書・資料集・授業レジュメ・確認テスト・短文論述</p> <p>・一人1台端末の活用等<br/>Classi Note(Questへの取り組み)</p>                        | <p>【知識・技能】<br/>第二次世界大戦終結後の冷戦構造について理解し、現代に直結する諸問題について理解する。1970年代の歴史的意義について、事実をもととして理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>第二次世界大戦終結後の冷戦構造について理解したうえで、現代に直結する諸問題について理解し考察する。1970年代の歴史的意義について、事実をもととして理解し考察したうえで表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>授業では必要なことを必ずメモする習慣をつけ、周辺の生徒どうしの対話を通じて、世界史の授業内容を能動的に学び、歴史を通じて現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる。</p> | ○ | ○ | ○  | 20 |
|             | 定期考査   |   |  | ○ | ○ | ○  | 1  |
|             | <p>第19章：冷戦の終結と今日の世界</p> <p>【知識及び技能】<br/>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、授業中のメモを通じて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、能動的に歴史を考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>周辺の生徒同士の対話を通じて歴史を主体的に学び、現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる人になろう。</p>           | <p>・指導事項<br/>1 産業構造の変容<br/>2 冷戦の終結<br/>3 今日の世界<br/>4 現代文明の諸相</p> <p>・教材<br/>教科書・資料集・授業レジュメ・確認テスト・短文論述</p> <p>・一人1台端末の活用等<br/>Classi Note(Questへの取り組み)</p>                   | <p>【知識・技能】<br/>グローバル化とは何か、という問いについて、歴史的な事実を踏まえて理解する。また、「現代」が抱える様々な問題のきっかけについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>グローバル化とは何か、という問いについて、歴史的な事実を踏まえて理解した上で考察する。また、「現代」が抱える様々な問題のきっかけについて理解し考察したうえで表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>授業では必要なことを必ずメモする習慣をつけ、周辺の生徒どうしの対話を通じて、世界史の授業内容を能動的に学び、歴史を通じて現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる。</p>            | ○ | ○ | ○  | 10 |
| 定期考査        |  |   | ○  | ○ | ○ | 1  |    |
| 3<br>学<br>期 | <p>共通テストに向けた演習<br/>論述対策（個別指導）</p> <p>【知識及び技能】<br/>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、授業中のメモを通じて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>決して暗記しようとせず、世界史のなぜ？どうして？を考え、能動的に歴史を考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>周辺の生徒同士の対話を通じて歴史を主体的に学び、現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる人になろう。</p> | <p>・指導事項<br/>共通テストの過去問や予想問題を解き、知識や思考力の確認を行う。また個別で国公立大学二次試験や私大の入試問題を用いた論述対策を行う。</p> <p>・教材<br/>教科書・資料集・授業レジュメ・確認テスト・短文論述</p> <p>・一人1台端末の活用等<br/>Classi Note(Questへの取り組み)</p> | <p>【知識・技能】<br/>他教科とのバランスを常に意識して、これまで学んだ基本的な知識を網羅的に理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>他教科とのバランスを常に意識して、これまで学んだ基本的な知識を網羅的に理解した上で考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>授業では必要なことを必ずメモする習慣をつけ、周辺の生徒どうしの対話を通じて、世界史の授業内容を能動的に学び、歴史を通じて現在の世界に目を向け、自分の頭で歴史について考え、表現できる。</p>  | ○ | ○ | ○  | 20 |
|             |  |   |  |   |   | 合計 | 78 |

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

地理歴史 科目 日本史

教科： 地理歴史

科目： 日本史

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 ① 講座 ～ ③ 講座

教科担当者： ( ①組： ) ( ②組： ) ( ③組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： )

使用教科書： ( 山川出版社『詳説日本史』 (日本史探究) )

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会を実現するための課題を主体的に解決しようとする態度を養う。日本や他国の文化を尊重することの大切さを自覚し、深める。

科目 日本史

の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|--|---|
| 武士社会の成立・展開や近代社会への変化を理解するのに必要な各時代の政治・社会・文化の基本的な知識を身につけ、アジア地域の歴史と日本の歴史を関連付けて理解ができる。 | 歴史上の出来事について、その原因や影響を探究することにより思考力・判断力を培う。また、自分の考えを表明したり論述することにより表現力を養う。 | 歴史に興味を持ち、現代の様々な問題を理解する力になることを発見できる。また、日本と世界が連動していたことに関心を抱き、グローバルな世界観なかで日本を関連付ける視点をもつ。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|--|---|---|---|---|----------|
| A 武士社会の成長<br>【知識及び技能】<br>室町幕府の成立・衰退に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて理解できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>室町幕府の成立・衰退に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて表現できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>室町幕府の成立・衰退に関する史資料に自ら問いを設定し、調査を行うことができる。    | ・指導事項<br>室町幕府の成立と衰退・文化<br>戦国大名の登場<br>・教材<br>教科書・資料集<br>授業者作成のプリント<br>・一人1台端末の活用 等<br>動画配信<br>インターネット利用の事項検索            | 【知識・技能】<br>室町幕府の成立・衰退に関する史資料や歴史用語を読解し、理解できる。<br>【思考・判断・表現】<br>室町幕府の成立・衰退に関して、史資料を用いて説明することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をもち、問いを設定している。 | ○ | ○ | ○ | 10       |
| B 幕藩体制の展開と動揺<br>【知識及び技能】<br>幕藩体制の展開と動揺に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて理解できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>幕藩体制の展開と動揺に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて表現できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>幕藩体制の展開と動揺に関する史資料に自ら問いを設定し、調査を行うことができる。 | ・指導事項<br>織豊政権と幕藩体制<br>幕政の安定から動揺へ<br>江戸時代の文化史<br>・教材<br>教科書・資料集<br>授業者作成のプリント<br>・一人1台端末の活用 等<br>動画配信<br>インターネット利用の事項検索 | 【知識・技能】<br>幕藩体制の展開と動揺に関する史資料や歴史用語を読解し、理解できる。<br>【思考・判断・表現】<br>幕藩体制の展開と動揺に関して、史資料を用いて説明することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をもち、問いを設定している。 | ○ | ○ | ○ | 20       |
| 定期考査  |  |   | ○ | ○ | ○ | 1        |
| C 近世から近代へ<br>【知識及び技能】<br>幕末・明治維新の展開に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて理解できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>幕末・明治維新の展開と動揺に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて表現できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>幕末・明治維新の展開に関する史資料に自ら問いを設定し、調査を行うことができる。 | ・指導事項<br>開国と幕末<br>新政府発足と明治維新<br>富国強兵と立憲国家の成立<br>・教材<br>教科書・資料集<br>授業者作成のプリント<br>・一人1台端末の活用 等<br>動画配信<br>インターネット利用の事項検索 | 【知識・技能】<br>幕末・明治維新の展開に関する史資料や歴史用語を読解し、理解できる。<br>【思考・判断・表現】<br>幕末・明治維新の展開に関して、史資料を用いて説明することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をもち、問いを設定している。 | ○ | ○ | ○ | 20       |
| 定期考査  |  |   | ○ | ○ | ○ | 1        |

|             |   |   |   |   |   |    |     |
|-------------|---|---|---|---|---|----|-----|
| 2<br>学<br>期 | A 日清戦争と議会政治<br>【知識及び技能】<br>日清戦争と議会政治に関する史資料を<br>読解し、歴史事項と関連付けて理解で<br>きる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日清戦争と議会政治に関する史資料を<br>読解し、歴史事項と関連付けて表現で<br>きる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>日清戦争と議会政治に関する史資料に<br>自ら問いを設定し、調査を行うことが<br>できる。   | ・指導事項<br>日清戦争直前の政治外交の展開<br>日清戦争直後の政治外交の展開<br>・教材<br>教科書・資料集<br>授業者作成のプリント<br>・一人1台端末の活用 等<br>動画配信<br>インターネット利用の事項検索           | 【知識・技能】<br>日清戦争と議会政治に関する史資料や歴史用<br>語を読解し、理解できる。<br>【思考・判断・表現】<br>日清戦争と議会政治に関して、史資料を用い<br>て説明することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問を<br>もち、問いを設定している。                           | ○ | ○ | ○  | 18  |
|             | B 日露戦争と韓国併合<br>【知識及び技能】<br>日露戦争と韓国併合に関する史資料を<br>読解し、歴史事項と関連付けて理解で<br>きる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日露戦争と韓国併合に関する史資料を<br>読解し、歴史事項と関連付けて表現で<br>きる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>日露戦争と韓国併合に関する史資料に<br>自ら問いを設定し、調査を行うことが<br>できる。   | ・指導事項<br>日露戦争前後の議会政治と外交<br>韓国併合にいたる過程と課題<br>・教材<br>教科書・資料集<br>授業者作成のプリント<br>・一人1台端末の活用 等<br>動画配信<br>インターネット利用の事項検索            | 【知識・技能】<br>日露戦争と韓国併合に関する史資料や歴史用<br>語を読解し、理解できる。<br>【思考・判断・表現】<br>日露戦争と韓国併合に関して、史資料を用い<br>て説明することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問を<br>もち、問いを設定している。                           | ○ | ○ | ○  | 20  |
|             | 定期考査  |   |   | ○ | ○ | ○  | 1   |
|             | C 第一次世界大戦前夜の日本と関東大<br>震災<br>【知識及び技能】<br>第一次世界大戦前夜の日本と関東大震<br>災に関する史資料を読解し、歴史事項<br>と関連付けて理解できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>第一次世界大戦前夜の日本と関東大震<br>災に関する史資料を読解し、歴史事項<br>と関連付けて表現できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>第一次世界大戦前夜の日本と関東大震<br>災に関する史資料に自ら問いを設定<br>し、調査を行うことができる。 | ・指導事項<br>第一次世界大戦前夜の状況<br>大正デモクラシーの展開<br>関東大震災と日本の未来<br>・教材<br>教科書・資料集<br>授業者作成のプリント<br>・一人1台端末の活用 等<br>動画配信<br>インターネット利用の事項検索 | 【知識・技能】<br>第一次世界大戦前夜の日本と関東大震災に<br>関する史資料や歴史用語を読解し、理解で<br>きる。<br>【思考・判断・表現】<br>第一次世界大戦前夜の日本と関東大震災に<br>関して、史資料を用いて説明することがで<br>きる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問を<br>もち、問いを設定している。 | ○ | ○ | ○  | 24  |
| 定期考査        |   |   | ○   | ○ | ○ | 1  |     |
| 3<br>学<br>期 | A 問題演習①<br>【知識及び技能】<br>大学入学共通テスト型演習で知識の定<br>着をはかる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>大学入学共通テスト型演習で思考力の<br>養成をはかる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>大学入学共通テスト型演習で困難に立<br>ち向かう意識の涵養をはかる。   | ・指導事項<br>共通テスト型問題演習<br>国公立2次型問題演習<br>私大型問題演習<br>・教材<br>教科書・資料集<br>授業者作成のプリント<br>・一人1台端末の活用 等<br>動画配信<br>インターネット利用の事項検索        | 【知識・技能】<br>問題演習で知識を関連付けて効率よく引き出<br>すことができる。<br>【思考・判断・表現】<br>問題演習で知識をもとに正確に推測するこ<br>とができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>難問に立ち向かうことで、自信をもつ。   | ○ | ○ | ○  | 7   |
|             | B 問題演習②<br>【知識及び技能】<br>国公立二次・私大型演習で知識の定着<br>をはかる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>国公立二次・私大型演習で思考力の養<br>成をはかる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>国公立二次・私大型演習で困難に立ち<br>向かう意識の涵養をはかる。  |   |   |   |   |    |     |
|             | C 個別論述対策<br>【知識及び技能】<br>国公立二次論述演習で知識の定着をは<br>かる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>国公立二次論述演習で思考力の養成を<br>はかる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>国公立二次論述演習で困難に立ち向<br>かう意識の涵養をはかる。   | ・指導事項<br>国公立2次型問題演習<br>・教材<br>教科書・資料集<br>授業者作成のプリント<br>・一人1台端末の活用 等<br>動画配信<br>インターネット利用の事項検索                                 | 【知識・技能】<br>問題演習で知識を関連付けて効率よく引き出<br>すことができる。<br>【思考・判断・表現】<br>問題演習で知識をもとに正確に推測するこ<br>とができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>難問に立ち向かうことで、自信をもつ。   | ○ | ○ | ○  | 32  |
|             | 小テスト・学年末の提出物  |   |   | ○ | ○ | ○  | 1   |
|             |   |   |   |   |   | 合計 | 156 |

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史特講

教科：地理歴史 科目：日本史特講 単位数：2 単位  
 対象学年組：第3学年 1組～8組  
 教科担当者：（1組～8組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）  
 使用教科書：（山川出版社『詳説 日本史探究』 ）

教科 地理歴史 の目標：  
**【知識及び技能】** 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。  
**【思考力、判断力、表現力等】** 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。  
**【学びに向かう力、人間性等】** 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会を実現するための課題を主体的に解決しようとする態度を養う。日本や他国の文化を尊重することの大切さを自覚し、深める。

| 科目 日本史特講   | の目標：   |
|--|--|
| <b>【知識及び技能】</b>  | <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  |
| 第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。我が国の再出発及びその後の政治経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。 | 第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを考察する。戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開等について考察し、根拠を示して表現する。     |
|  | <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  |
|  | 歴史に興味を持ち、現代の様々な問題を理解するカギになることに気付く。現代社会の問題点が、どこを起点に発生しているか等、考えながら学ぶことによって、自分なりの歴史像を身につける。 |

|             | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|------------------|
|             |   |   |   |   |   |   |                  |
| 1<br>学<br>期 | A 明治時代概観<br>【知識・技能】<br>明治時代の基礎・基本的な事項の推移を理解できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>明治時代の諸政策を踏まえ、現代の日本の課題を理解することができる。  | ・指導事項<br>明治時代概論<br>・教材<br>教科書・資料集<br>授業者作成のプリント<br>・一人1台端末の活用 等<br>動画配信<br>インターネット利用の事項検索                             | 【知識・技能】<br>明治時代の基礎的な事項の推移についての知識を身に付けている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をもち、問いを設定している。   | ○ |   | ○ | 4                |
|             | B 近代国家の展開<br>【知識・技能】<br>第一次世界大戦期の歴史的事項の推移を理解できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>第一次世界大戦前後の、欧米諸国や東南アジア諸国との関係、戦争が及ぼした影響などについて考察し、表現することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>第一次世界大戦期について、主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究している。 | ・指導事項<br>第一次世界大戦と日本<br>ワシントン体制<br>・教材<br>教科書・資料集<br>授業者作成のプリント<br>・一人1台端末の活用 等<br>動画配信<br>インターネット利用の事項検索              | 【知識・技能】<br>第一次世界大戦期の推移や諸外国との関係の基礎的な知識を身に付けている。<br>【思考・判断・表現】<br>第一次世界大戦期について、諸外国との関係やその影響について考えたり、判断したり、表現したりしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をもち、問いを設定している。                | ○ | ○ | ○ | 6                |
|             | 定期考査  |   |   | ○ | ○ | ○ | 1                |
|             | C 近代の産業と生活<br>【知識及び技能】<br>産業の発展の経緯と近代文化の特色を理解できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>日本の工業化の進展、近代の文化の形成について考察し、表現できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>産業の発展や近代文化の特色について、主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究している。                     | ・指導事項<br>近代産業の発展<br>近代文化の発達<br>市民生活の変容と大衆文化<br>・教材<br>教科書・資料集<br>授業者作成のプリント<br>・一人1台端末の活用 等<br>動画配信<br>インターネット利用の事項検索 | 【知識・技能】<br>産業の発展の経緯・近代文化の特色についての基礎的な知識を身に付けている。<br>【思考・判断・表現】<br>日本の工業化の進展について、その特色を表現できる。また近代の文化の形成について、その時代背景を理解し、特徴について判断している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をもち、問いを設定している。 | ○ | ○ | ○ | 6                |
|             | D 恐慌と第二次世界大戦<br>【知識及び技能】<br>第二次世界大戦に至る過程及び、大戦中の政治・社会について理解できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて考察し、表現できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>第二次世界大戦中の国民生活の変容などについて、主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究している。    | ・指導事項<br>恐慌の時代<br>軍部の台頭<br>第二次世界大戦<br>・教材<br>教科書・資料集<br>授業者作成のプリント<br>・一人1台端末の活用 等<br>動画配信<br>インターネット利用の事項検索          | 【知識・技能】<br>第二次世界大戦に至る過程・大戦中の政治・社会について、基礎的な知識を身に付けている。<br>【思考・判断・表現】<br>第二次世界大戦と日本の動向について、その経緯や画期について考えたり、表現したりしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をもち、問いを設定している。               | ○ | ○ | ○ | 8                |
| 定期考査        |   |   | ○   | ○ | ○ | 1 |                  |



高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 公民 科目 倫理

教科：公民 科目：倫理 単位数：2 単位  
 対象学年組：第3学年 1組～8組  
 教科担当者：(組：)(組：)(組：)(組：)(組：)(組：)  
 使用教科書：(実教出版社『詳述倫理』)

教科 公民 の目標：  
**【知識及び技能】** 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決について、関連する諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。  
**【思考力、判断力、表現力等】** 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる政治・経済の概念や理論などを活用して、社会の課題を把握・説明するとともに考察し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付ける力を養う。  
**【学びに向かう力、人間性等】** より良い社会の実現のため政治・経済の諸課題について、主体的に解決しようする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察と理解を通して国家や国際社会の形成に積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

|                                |                                      |  |                       |
|--------------------------------|--------------------------------------|--|-----------------------|
| 科目 倫理 の目標：                     | <b>【知識及び技能】</b>                      | <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>                    | <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> |
| 各思想の基本的な特徴を理解し、それらの思想の内容を理解する。 | 宗教や哲学などの思想の特徴を捉え、それぞれの違いを説明することが出来る。 | 現代の諸課題などの問題について、学んだことを使って自らの意見を述べる事が出来る。 |                       |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|---|---|---|---|---|----------|
| 第1章<br>自己形成と自己の生き方<br><b>【知識・技能】</b><br>個性、感情、認知、発達などに着目して、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解させる。<br><b>【思考・判断・表現】</b><br>自己の生き方を見つめ直し、自らの体験や悩みを振り返り、他者、集団や社会、生命や自然などとの関わりにも着目して自己の課題を捉える。<br><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br>その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察する。 | ・青年期の特徴を理解する。<br>・人生における青年期の意義を理解する。<br>・パーソナリティの理論や青年期において直面する葛藤や欲求不満などの困難とその対処法を理解する。<br>・青年期の発達課題を理解する。<br>・ウェルビーイングや生きがい、生きる意味についての考え方を理解する。<br>・個性化と社会化について理解する。<br>・人間のさまざまな特質について理解する。           | <b>【知識・技能】</b><br>・個性、感情、認知、発達などに着目して、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解している。<br><b>【思考・判断・表現】</b><br>・自己の生き方を見つめ直し、自らの体験や悩みを振り返り、他者、集団や社会、生命や自然などとの関わりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。<br><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br>・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしていたりしている。 | ○ | ○ | ○ | 6        |
| 第2章<br>人間としてのあり方生き方<br><b>【知識・技能】</b><br>人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解させる。その際、人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解させる。<br><b>【思考・判断・表現】</b><br>古代ギリシアの思想に関する諸資料から、人間としての在り方生き方に関する情報を読み取る技能を身に付けさせる。<br><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br>世界と人間の在り方について思索し、現代を生きる我々の在り方生き方について多面的に考察する。            | ・ソクラテスが大切だと考えた生き方を知り、よりよい生き方とは何か考察する。<br>・プラトンの理想主義について理解する。<br>・アリストテレスとプラトンの考え方の違いを理解する。<br>・善や幸福を実現するためにはどうすればよいか、考察する。<br>・エピクロス派とストア派の思想を理解する。   | <b>【知識・技能】</b><br>・人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解し、人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解している。<br>・世界と人間の在り方について思索するための手掛かりとなる様々な世界観について理解している。<br><b>【思考・判断・表現】</b><br>・古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。<br><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br>・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしていたりしている。          | ○ | ○ | ○ | 6        |
| 中間考査   |   |   | ○ | ○ |   | 1        |
| 第2章<br><b>【知識・技能】</b><br>人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解させる。その際、人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解させる。<br><b>【思考・判断・表現】</b><br>世界の主な宗教の思想に関する諸資料から、人間としての在り方生き方に関する情報を読み取る技能を身に付けさせる。<br><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br>世界と人間の在り方について思索し、現代を生きる我々の在り方生き方について多面的に考察する。                           | ・ユダヤ教の成立やその教えを理解する。<br>・イエスは、神の教えをどのように表現したか理解する。<br>・贖罪思想について理解する。<br>・キリスト教がどのように広がっていったかについてまとめる。<br>・イスラームの教えやキリスト教との違いについて理解する。<br>・バラモン教の教えやウパニシャッド哲学を理解する。<br>・ブッダの教えを理解する。<br>・大乘仏教の教えや実践を理解する。 | <b>【知識・技能】</b><br>・人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解し、人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解している。<br>・世界と人間の在り方について思索するための手掛かりとなる様々な世界観について理解している。<br><b>【思考・判断・表現】</b><br>・古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。<br><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br>・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしていたりしている。          | ○ | ○ | ○ | 12       |
| 期末考査   |   |   | ○ | ○ |   | 1        |

|             |   |   |   |   |   |   |    |
|-------------|---|---|---|---|---|---|----|
| 2<br>学<br>期 | <p>第3章<br/>社会・世界と人間としてのあり方生き方</p> <p>【知識・技能】<br/>人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解させる。その際、人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解させる。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>西洋近代思想に関する諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>世界と人間の在り方について思索し、現代を生きる我々の在り方生き方について多面的に考察する。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>孔子の言葉を読み取り、その教えを理解する。</li> <li>孔子以外の儒家思想を理解する。</li> <li>老荘思想を理解する。</li> <li>ルネサンス期の時代変化について、文学や芸術などの側面から理解する。</li> </ul>   | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解し、人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解している。</li> <li>世界と人間の在り方について思索するための手掛かりとなる様々な世界観について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしていたりしている。</li> </ul>                       | ○ | ○ | ○ | 8  |
|             | <p>第3章<br/>社会・世界と人間としてのあり方生き方</p> <p>【知識・技能】<br/>人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解させる。その際、人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解させる。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>西洋近代思想に関する諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>世界と人間の在り方について思索し、現代を生きる我々の在り方生き方について多面的に考察する。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>宗教改革の動きやルター、カルヴァンの思想を理解する。</li> <li>モンテーニュやパスカルの思想を理解する。</li> <li>近代の自然観がどのように形成されたか理解する。</li> <li>ペーコンの思想を理解する。</li> <li>デカルトの思想を理解する。</li> <li>カントの道徳論を理解する。</li> <li>ヘーゲルの述べた精神と歴史の関係や弁証法を理解する。</li> </ul>  | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解し、人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解している。</li> <li>世界と人間の在り方について思索するための手掛かりとなる様々な世界観について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしていたりしている。</li> </ul>                       | ○ | ○ | ○ | 8  |
|             | 中間考査  |   |   | ○ | ○ |   | 1  |
|             | <p>第4章<br/>国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>【知識・技能】<br/>古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて理解させる。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に関する原典や原典の口語訳などの諸資料から、日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本人の気質や文化が自然や風土と関連して形成されたことを理解し、道徳観の形成過程やその特質を理解する。</li> <li>仏教の受容やそれが浸透した流れを理解する。</li> <li>平安・鎌倉時代の仏教が何をめざしてどのような考え方をもちか理解する。</li> <li>江戸幕府が注目した朱子学を理解する。</li> <li>日本独自の儒学思想の特徴や考え方を理解する。</li> <li>国学者が理想とした、外来思想を受け入れる以前の古代日本に見出した日本固有の道の考え方を理解する。</li> <li>西洋の学術との接触は、封建的な当時の日本社会にどのような影響を与えたのか考察する。</li> <li>日本で生まれた独自の思想を理解する。</li> </ul> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古来の日本人の考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしていたりしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 14 |
| 期末考査        |   |   | ○   | ○ |   | 1 |    |

|         |  |  |   |   |   |    |    |
|---------|--|--|---|---|---|----|----|
|         | <p>共通テスト対策演習</p> <p>【知識・技能】<br/>これまでに学習した内容に関して、基本的な用語、人物などを理解し、これを活用して問題に取り組む。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>これまでに学習した内容を用いて、様々な思想の違いや特徴を把握し、複合的な問題に取り組む。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>文章の内容を理解し、述べられている内容を自らの関わりにおいて考え、思索する。</p> | <p>・共通テスト対策演習<br/>共通テストの過去問題を使った演習を行う。</p> | <p>【知識・技能】<br/>これまでに学習した人物やその著書などを活用し、問題に取り組むことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>原典の記述から思想の特徴を把握し、どの時代のどのような思想であるかを理解することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>間違えた問題を調べ直し、知識の定着をしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○  | 4  |
| 3<br>学期 | <p>共通テスト対策演習</p> <p>【知識・技能】<br/>これまでに学習した内容に関して、基本的な用語、人物などを理解し、これを活用して問題に取り組む。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>これまでに学習した内容を用いて、様々な思想の違いや特徴を把握し、複合的な問題に取り組む。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>文章の内容を理解し、述べられている内容を自らの関わりにおいて考え、思索する。</p> | <p>・共通テスト対策演習<br/>共通テストの過去問題を使った演習を行う。</p> | <p>【知識・技能】<br/>これまでに学習した人物やその著書などを活用し、問題に取り組むことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>原典の記述から思想の特徴を把握し、どの時代のどのような思想であるかを理解することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>間違えた問題を調べ直し、知識の定着をしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○  | 16 |
|         |  |  |   |   |   | 合計 | 78 |

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

公民

科目 政治・経済

教科：公民

科目：政治・経済

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1/2/3/4/5/6/7/8組）

使用教科書：（『政治・経済』（東京書籍））

教科 公民

の目標：

- 【知識及び技能】 社会の在り方に関する現実社会の諸課題の解決について、関連する諸資料から社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる政治・経済の概念や理論などを活用して、社会の課題を把握・説明するとともに考察し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 より良い社会の実現のため政治・経済の諸課題について、主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察と理解を通して国家や国際社会の形成に積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

科目 政治・経済

の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】                                     |
|--|--|--|
| 社会の在り方に関する現実社会の諸課題の解決について、関連する諸資料から社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる政治経済の概念や理論などを活用して、社会の課題を把握・説明するとともに考察し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付ける力を養う。 | 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現のため現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 |

|             | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|-------------|--|---|--|---|---|---|----------|
|             |  |   |  |   |   |   |          |
| 1<br>学<br>期 | 1節 民主政治の基本原則<br>【知識及び技能】・民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】・法や人権、少数派などの視点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要かを考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】・よりよい社会の実現のため現代社会の枠組みの中で、政治の役割・法の意義・民主政治の在り方などの諸課題をどのように向き合い、どう解決するべきかを考え、自らの意見を述べる事が出来る。                         | 指導事項：・政治は社会のなかでどのような役割を果たしているのだろうか。・法にはどのような意義があるのだろうか。・よりよい民主政治のあり方とはどのようなもののだろうか。・議院内閣制と大統領制にはどのような違いがあるのだろうか。<br><br>教材と学習方法<br>・教科書、資料集、プリント<br>・端末iPadの活用<br>・グループワークでの意見交換<br>・大学入試問題と記述問題<br>・単元ごと小テスト | 【知識・技能】・民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解している。・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。<br>【思考・判断・表現】・法や人権、少数派などの視点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。                             | ○ | ○ | ○ | 11       |
|             | 中間考査   |   |  | ○ | ○ | ○ | 1        |
|             | 2節 民主政治の基本原則<br>【知識及び技能】・日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているかを考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】・よりよい社会の実現のため現代社会の枠組みの中で、憲法の役割・基本的人権の保障・平和主義と安全保障の在り方などの諸課題をどのように向き合い、どう解決するべきかを考え、自らの意見を述べる事が出来る。 | 指導事項：・憲法は現在の日本においてどのような役割を果たしているのだろうか。・基本的人権は私たちの生活にどのように関係しているのだろうか。・平和主義の下、今後の日本の安全保障はどうあるべきだろうか。<br><br>教材と学習方法<br>・教科書、資料集、プリント<br>・端末iPadの活用<br>・グループワークでの意見交換<br>・大学入試問題と記述問題<br>・単元ごと小テスト              | 【知識・技能】・明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。<br>【思考・判断・表現】・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているかを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 13       |
|             | 期末考査   |   |  | ○ | ○ | ○ | 1        |



高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 公民 科目 経済特講

教科: 公民 科目: 経済特講 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者: (選択1組: ○○)

使用教科書: (『政治・経済』(東京書籍))

教科 公民 の目標:

- 【知識及び技能】 社会の在り方に関する現実社会の諸課題の解決について、関連する諸資料から社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる政治・経済の概念や理論などを活用して、社会の課題を把握・説明するとともに考察し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 より良い社会の実現のため政治・経済の諸課題について、主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察と理解を通して国家や国際社会の形成に積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

科目 経済特講 の目標:

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】                                     |
|--|---|--|
| 社会の在り方に関する現実社会の諸課題の解決について、関連する諸資料から社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる政治・経済の概念や理論などを活用して、社会の課題を把握・説明するとともに考察し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付ける力を養う。 | 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現のため現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 |

|   | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|--|---|--|---|---|---|----------|
| 1<br>学<br>期   | 1節 現代の資本主義経済<br>【知識及び技能】・経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】・資本主義経済の特徴に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】・よりよい社会の実現のため現代社会の枠組みの中で、経済活動の特徴、希少性やトレードオフなど経済活動の基本原則、今日の資本主義経済の課題などの諸課題をどのように向き合い、どう解決すべきかを考え、自らの意見を述べる事が出来る。                                     | 指導事項: ・資本主義経済はなぜ、今日の経済の主流になったのだろうか。<br>・資本主義・社会主義経済はどのように発展、変化したのだろうか。<br>教材と学習方法<br>・教科書、資料集、プリント<br>・端末iPadの活用<br>・グループワークでの意見交換<br>・大学入試問題と記述問題<br>・単元ごと小テスト   | 【知識・技能】・経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義について理解している。<br>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。<br>【思考・判断・表現】・資本主義経済の特徴に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】・現代の資本主義経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。  | ○ | ○ | ○ | 12       |
|   | 中間考査   |   |  | ○ | ○ | ○ | 1        |
|   | 2節 現代経済のしくみ<br>【知識及び技能】・経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政のしくみと機能について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】・企業、市場経済、国民所得、金融、財政などの観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】・よりよい社会の実現のため現代社会の枠組みの中で、家計および企業の経済活動、市場経済、国民所得、金融、財政などの諸課題をどのように向き合い、どう解決すべきかを考え、自らの意見を述べる事が出来る。 | 指導事項: ・現代の経済はどのような課題を抱えているのだろうか。<br>・企業はどのような活動を行っているのだろうか。<br>・市場において価格はどのような役割を果たしているのだろうか。<br>・景気変動はなぜ起こるのだろうか。<br>・金融はどのような役割を果たしているのだろうか。<br>・日本の財政はどのような課題を抱えているのだろうか。<br>教材と学習方法<br>・教科書、資料集、プリント<br>・端末iPadの活用<br>・グループワークでの意見交換<br>・大学入試問題と記述問題<br>・単元ごと小テスト | 【知識・技能】・経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政のしくみと機能について理解している。<br>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。<br>【思考・判断・表現】・企業、市場経済、国民所得、金融、財政などの観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7        |
| 3節 日本経済の発展と現状<br>【知識及び技能】・戦後日本経済の発展と日本経済の現状について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】・現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】・よりよい社会の実現のため現代社会の枠組みの中で、戦後復興から高度経済成長の終焉、日本経済の変遷、産業構造の変化、バブル経済崩壊後の日本経済の状況などの諸課題をどのように向き合い、どう解決すべきかを考え、自らの意見を述べる事が出来る。 | 指導事項: ・戦後の日本経済とはどのような産業構造の変化がみられたのだろうか。<br>・バブル経済崩壊後の日本経済はどのような影響をもたらしたのだろうか。<br>教材と学習方法<br>・教科書、資料集、プリント<br>・端末iPadの活用<br>・グループワークでの意見交換<br>・大学入試問題と記述問題<br>・単元ごと小テスト   | 【知識・技能】・戦後日本経済の発展と、日本経済の現状について理解している。<br>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。<br>【思考・判断・表現】・現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。                                  | ○  | ○ | ○ | 5 |          |
| 期末考査  |  |   |  | ○ | ○ | ○ | 1        |

|             |   |  |  |   |   |   |   |
|-------------|---|--|--|---|---|---|---|
| 2<br>学<br>期 | 3節 日本経済の発展と現状<br>【知識及び技能】・戦後日本経済の発展と日本経済の現状について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】・現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】・よりよい社会の実現のため現代社会の枠組みの中で、戦後日本経済の発展と日本経済の現状、現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済の変遷と問題点などの諸課題をどのように向き合い、どう解決すべきかを考え、自らの意見を述べる事が出来る。  | 指導事項：・戦後の日本経済とはどのような産業構造の変化がみられただろうか。・バブル経済崩壊後の日本経済はどのような影響をもたらしただろうか。<br><br>教材と学習方法<br>・教科書、資料集、プリント<br>・端末iPadの活用<br>・グループワークでの意見交換<br>・大学入試問題と記述問題<br>・単元ごと小テスト  | 【知識・技能】・戦後日本経済の発展と、日本経済の現状について理解している。・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。<br>【思考・判断・表現】・現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。   | ○ | ○ | ○ | 8 |
|             | 4節 福祉社会と日本経済の課題<br>【知識及び技能】・公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何が出来るか考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】・よりよい社会の実現のため現代社会の枠組みの中で、公害問題、戦後日本の農業や漁業の課題、食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者保護、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会などの諸課題をどのように向き合い、どう解決すべきかを考え、自らの意見を述べる事が出来る。 | 指導事項：・公害問題はなぜ発生するのだろうか。・これからの日本の農業と食料はどうあるべきだろうか。・日本の中小企業はどのような課題を抱えているだろうか。・情報の進展は社会にどのようなイノベーションをもたらしたのだろうか。消費者問題はなぜ発生するのだろうか。・雇用問題を取り巻く現状はどのようにになっているだろうか。<br><br>教材と学習方法<br>・教科書、資料集、プリント<br>・端末iPadの活用<br>・グループワークでの意見交換<br>・大学入試問題と記述問題<br>・単元ごと小テスト | 【知識・技能】・公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解している。・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。<br>【思考・判断・表現】・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何が出来るか多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。        | ○ | ○ | ○ | 8 |
|             | 中間調査  |  |  | ○ | ○ | ○ | 1 |
|             | 4節 福祉社会と日本経済の課題<br>【知識及び技能】・公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何が出来るか考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】・よりよい社会の実現のため現代社会の枠組みの中で、公害問題、戦後日本の農業や漁業の課題、食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者保護、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会などの諸課題をどのように向き合い、どう解決すべきかを考え、自らの意見を述べる事が出来る。 | 指導事項：・公害問題はなぜ発生するのだろうか。・これからの日本の農業と食料はどうあるべきだろうか。・日本の中小企業はどのような課題を抱えているだろうか。・情報の進展は社会にどのようなイノベーションをもたらしたのだろうか。消費者問題はなぜ発生するのだろうか。・雇用問題を取り巻く現状はどのようにになっているだろうか。<br><br>教材と学習方法<br>・教科書、資料集、プリント<br>・端末iPadの活用<br>・グループワークでの意見交換<br>・大学入試問題と記述問題<br>・単元ごと小テスト | 【知識・技能】・公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解している。・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。<br>【思考・判断・表現】・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何が出来るか多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。        | ○ | ○ | ○ | 6 |
|             | 5節 国民経済と国際経済<br>【知識及び技能】・自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】・貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】・よりよい社会の実現のため現代社会の枠組みの中で、貿易の意義、現代の国際通貨体制の変遷、南北問題の解消などの諸課題をどのように向き合い、どう解決すべきかを考え、自らの意見を述べる事が出来る。                                       | 指導事項：・為替レートはどのような要因によって変動するだろうか。・地域統合や自由貿易の進展はどのようにになっているだろうか。・国際社会は南北問題の解消にどのように取り組んできただろうか。<br><br>教材と学習方法<br>・教科書、資料集、プリント<br>・端末iPadの活用<br>・グループワークでの意見交換<br>・大学入試問題と記述問題<br>・単元ごと小テスト   | 【知識・技能】・自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解している。・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。<br>【思考・判断・表現】・貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| 期末調査        |   |  | ○  | ○ | ○ | 1 |   |

|             |   |   |   |   |   |    |    |
|-------------|---|---|---|---|---|----|----|
| 3<br>学<br>期 | <p>5節 国民経済と国際経済</p> <p>【知識及び技能】・自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】・貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】・よりよい社会の実現のため現代社会の枠組みの中で、貿易の意義、現代の国際通貨体制の変遷、南北問題の解消などの諸課題をどのように向き合い、どう解決するべきかを考え、自らの意見を述べる事が出来る。</p> | <p>指導事項：・為替レートはどのような要因によって変動するだろうか。・地域統合や自由貿易の進展はどのようになっているだろうか。・国際社会は南北問題の解消にどのように取り組んできただろうか。</p> <p>教材と学習方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、資料集、プリント</li> <li>・端末iPadの活用</li> <li>・グループワークでの意見交換</li> <li>・大学入試問題と記述問題</li> <li>・単元ごと小テスト</li> </ul> | <p>【知識・技能】・自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解している。・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】・貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○  | 4  |
|             | <p>1節～5節までの経済分野のまとめ</p> <p>【知識及び技能】・1節～5節までの経済分野について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】・1節～5節までの経済分野の学習を通して、主権者である自分はどうのように政治参加をしていけばよいか考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】・よりよい社会の実現のため現代社会の枠組みの中で、1節～5節までの経済分野の諸課題をどのように向き合い、どう解決するべきかを考え、自らの意見を述べる事が出来る。</p>   | <p>指導事項：・1節～5節までの経済分野をまとめて再度確認する。</p> <p>教材と学習方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、資料集、プリント</li> <li>・端末iPadの活用</li> <li>・グループワークでの意見交換</li> <li>・大学入試問題と記述問題</li> <li>・単元ごと小テスト</li> </ul>   | <p>【知識・技能】・1節～5節までの経済分野について理解している。・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】・1節～5節までの経済分野について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・1節～5節までの経済分野について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>  | ○ | ○ | ○  | 16 |
|             |   |   |   |   |   | 合計 | 78 |

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅲ

教科： 数学 科目： 数学Ⅲ 単位数： 3 単位  
 対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組  
 教科担当者： ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： )  
 使用教科書： ( 数学Ⅲ (数研出版) )

- 教科 数学 の目標：
- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--|---|--|
| 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 | 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|--|---|---|---|---|----------|
| <p>関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数関数のグラフをかく。</li> <li>・分数方程式や不等式を解く。</li> <li>・無理関数のグラフをかく。</li> <li>・無理方程式や不等式を解く。</li> <li>・種々の関数の逆関数を求める。</li> <li>・種々の関数の合成関数を求める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数不等式や無理不等式を、関数のグラフを用いて考察する。</li> <li>・逆関数の定義域・値域や性質を考察する。</li> <li>・2つの関数を続けて作用させた関数を、合成関数という1つの関数として考察する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方程式や不等式の考察に、関数のグラフを活用する。</li> </ul>  | <p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分数関数、無理関数</li> <li>逆関数と合成関数</li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サクシード (数研出版)</li> <li>チャート式基礎からの数学 (数研出版)</li> </ul> <p>・一人1台端末の活用等</p> <p>Classi Note他</p>                                       | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数関数のグラフをかくことができる。</li> <li>・分数方程式や不等式が解ける。</li> <li>・無理関数のグラフをかくことができる。</li> <li>・無理方程式や不等式が解ける。</li> <li>・種々の関数の逆関数を求められる。</li> <li>・種々の関数の合成関数を求められる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数不等式や無理不等式を、関数のグラフを利用して考察できる。</li> <li>・逆関数の定義域・値域や性質を考察できる。</li> <li>・2つの関数を続けて作用させた関数を、合成関数という1つの関数として考察できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。</li> </ul>  |   |   |   |          |
| <p>極限</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数列の収束・発散について調べたり、極限を求めたりする。</li> <li>・無限等比数列の収束条件を理解し、利用する。</li> <li>・漸化式で表された数列の極限値を求める。</li> <li>・様々な無限級数の和を求める。</li> <li>・無限等比級数の収束条件を理解し、利用する。</li> <li>・様々な関数の極限を求める。</li> <li>・関数の右側左側極限を調べ、関数の極限の有無を調べる。</li> <li>・<math>\sin x/x</math>の極限を利用する。</li> <li>・関数の連続性、不連続性を判定する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式変形等の工夫により、数列の極限を求める。</li> <li>・はさみうちの原理を利用する。</li> <li>・無限等比級数を活用する。</li> <li>・式変形等の工夫により、関数の極限を求める。</li> <li>・中間値の定理を方程式の解の存在の証明に活用する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数列や関数の極限を、グラフなどで直観的に考察する。</li> <li>・様々な問題での極限の結果を考察する。</li> </ul> | <p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数列の極限、無限等比数列</li> <li>無限級数、関数の極限</li> <li>三角関数と極限</li> <li>関数の連続性</li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サクシード (数研出版)</li> <li>チャート式基礎からの数学 (数研出版)</li> </ul> <p>・一人1台端末の活用等</p> <p>Classi Note他</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数列の収束・発散について調べたり、極限を求めたりすることができる。</li> <li>・無限等比数列の収束条件を理解し、利用することができる。</li> <li>・漸化式で表された数列の極限値を求められる。</li> <li>・様々な無限級数の和を求められる。</li> <li>・無限等比級数の収束条件を理解し、利用することができる。</li> <li>・いろいろな関数の極限を求められる。</li> <li>・関数の右側極限、左側極限を調べ、関数の極限の有無を調べられる。</li> <li>・<math>\sin x/x</math>の極限を利用することができる。</li> <li>・関数の連続性、不連続性を判定できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式変形等の工夫により、数列の極限を求めることができる。</li> <li>・状況により、はさみうちの原理の利用を考察できる。</li> <li>・無限等比級数を様々な場面で活用できる。</li> <li>・式変形等の工夫により、関数の極限を求めることができる。</li> <li>・中間値の定理を方程式の解の存在の証明に活用できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数列や関数の極限を、グラフなどで直観的に考察しようとする。</li> <li>・様々な問題での極限の結果を考察しようとする。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 15       |
| 定期考査  |  |   | ○ | ○ | ○ | 1        |

|         |  |  |   |   |   |   |    |
|---------|--|--|---|---|---|---|----|
| 1<br>学期 | <p>微分法</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導関数の性質や様々な微分の手法を理解し、導関数を求める。</li> <li>三角関数、対数関数、指数関数を含む関数の導関数を求める。</li> <li>対数微分法を利用する。</li> <li>第 <math>n</math> 次導関数を求める。</li> <li>方程式 <math>F(x, y) = 0</math> を関数とみて微分する。</li> <li>媒介変数で表された関数の導関数を求める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導関数の性質や積・商の導関数、合成関数・逆関数の微分法を定義に基づいて証明する。</li> <li>自然対数の底 <math>e</math> を考える必然性を理解する。</li> <li>関数やその式の形により、どの微分の手法を用いればよいかを判断する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>微分可能性と連続性の関係について考察する。</li> <li>自然対数の底 <math>e</math> について考察する。</li> </ul> | <p>・指導事項</p> <p>微分係数と導関数<br/>導関数の計算<br/>いろいろな関数の導関数<br/>第 <math>n</math> 次導関数<br/>関数のいろいろな表し方と導関数</p> <p>・教材</p> <p>サクシード（数研出版）<br/>チャート式基礎からの数学（数研出版）</p> <p>・一人1台端末の活用等<br/>Classi Note他</p>                     | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導関数の性質や積・商の導関数、合成関数の微分法、逆関数の微分法を理解して、様々な導関数を求められる。</li> <li>三角関数、対数関数、指数関数の導関数を利用して、これらを含む関数の導関数を求められる。</li> <li>対数微分法を利用することができる。</li> <li>様々な関数の第 <math>n</math> 次導関数を求められる。</li> <li>方程式 <math>F(x, y) = 0</math> を関数とみて微分できる。</li> <li>媒介変数で表された関数の導関数を求められる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導関数の性質や積・商の導関数、合成関数の微分法、逆関数の微分法を定義に基づいて証明できる。</li> <li>自然対数の底 <math>e</math> を考える必然性を理解している。</li> <li>関数やその式の形により、どの微分の手法を用いればよいかを判断できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>微分可能性と連続性の関係について考察しようとする。</li> <li>自然対数の底 <math>e</math> について興味をもち、考察しようとする。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 22 |
|         | <p>微分法の応用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>微分を用いて関数のグラフの接線や法線の方程式を求める。</li> <li>平均値の定理を理解する。</li> <li>増減、凹凸、変曲点、漸近線などを調べ関数のグラフをかく。</li> <li>導関数を利用して不等式の証明問題、方程式の実数解の個数問題を解く。</li> <li>微分を用いて速度ベクトルや加速度ベクトルを求める。</li> <li>関数の近似式を作る。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共通な接線をもつ条件を理解し、問題の解決に利用する。</li> <li>平均値の定理を利用して不等式を証明する。</li> <li>速度や加速度を調べることで、等速円運動やサイクロイド運動の特徴を考察する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>方程式の重解と微分の関係について関心をもち、考察する。</li> <li>身近にある最大・最小の問題を微分を用いて調べ、解決する。</li> </ul>                                      | <p>・指導事項</p> <p>接線と法線、平均値の定理<br/>関数の値の変化<br/>関数の最大と最小<br/>関数のグラフ<br/>方程式・不等式への応用<br/>速度と加速度 近似式</p> <p>・教材</p> <p>サクシード（数研出版）<br/>チャート式基礎からの数学（数研出版）</p> <p>・一人1台端末の活用等<br/>Classi Note他</p>                       | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>微分を用いて関数のグラフの接線や法線の方程式を求められる。</li> <li>平均値の定理を理解している。</li> <li>導関数や第2次導関数を利用して、増減、凹凸、変曲点、漸近線などを調べて関数のグラフをかくことができる。</li> <li>導関数を利用して不等式の証明問題、方程式の実数解の個数問題を解ける。</li> <li>微分を用いて速度ベクトルや加速度ベクトルを求められる。</li> <li>関数の近似式を作ることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共通な接線をもつ条件を理解し、問題の解決に利用できる。</li> <li>平均値の定理を利用して不等式を証明できる。</li> <li>速度や加速度を調べることで、等速円運動やサイクロイド運動の特徴を考察できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>方程式の重解と微分の関係について関心をもち、考察しようとする。</li> <li>身近にある最大値・最小値の問題を、微分を用いて調べ、解決しようとする。</li> </ul>   | ○ | ○ | ○ | 22 |
|         | 定期考査   |  |   | ○ | ○ | ○ | 1  |
|         | <p>積分法</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な関数の不定積分を求める。</li> <li>置換積分法や部分積分法で複雑な関数の不定積分を求める。</li> <li>定積分の置換積分法や部分積分法で複雑な関数の定積分を求める。</li> <li>偶関数、奇関数の定積分の性質を利用して定積分を計算する。</li> <li>積分方程式を解く。</li> <li>数列の和を長方形の面積の和として捉え、その極限を定積分で求める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>合成関数の微分の逆演算として置換積分法を理解する。</li> <li>積の微分の逆演算として部分積分法を理解する。</li> <li>被積分関数の変形などの工夫をして不定積分を求める。</li> <li>区分求積法の考えを理解する。</li> <li>定積分を利用した不等式の証明について考察する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単には積分が求められない関数について、置換積分法や部分積分法を用いるなどの工夫をして自ら計算する。</li> </ul>    | <p>・指導事項</p> <p>不定積分とその基本性質<br/>置換積分法、部分積分法<br/>いろいろな関数の不定積分<br/>定積分とその基本性質<br/>定積分の置換積分法<br/>定積分の部分積分法<br/>定積分の種々の問題</p> <p>・教材</p> <p>サクシード（数研出版）<br/>チャート式基礎からの数学（数研出版）</p> <p>・一人1台端末の活用等<br/>Classi Note他</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不定積分の基本性質を理解し、様々な関数の不定積分を求められる。</li> <li>置換積分法や部分積分法を用いて、複雑な関数の不定積分を求められる。</li> <li>定積分の置換積分法や部分積分法を用いて、複雑な関数の定積分を求められる。</li> <li>偶関数、奇関数の定積分の性質を理解し、それを利用して定積分を計算できる。</li> <li>2つのタイプの積分方程式を解くことができる。</li> <li>数列の和を長方形の面積の和として捉え、その極限を定積分で求められる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>合成関数の微分の逆演算として置換積分法を理解している。</li> <li>積の微分の逆演算として部分積分法を理解している。</li> <li>被積分関数の変形などの工夫をして不定積分を求められる。</li> <li>区分求積法の考え方を理解している。</li> <li>定積分を利用した不等式の証明について考察できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単には積分が求められない関数について、置換積分法や部分積分法を用いるなどの工夫をして自ら計算しようとする。</li> </ul>               | ○ | ○ | ○ | 26 |



高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学C

教科：0 科目：数学C 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組  
 教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）  
 使用教科書：（ 数学C（数研出版） ）

- 教科 0 の目標：
- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学C の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|---|---|
| 平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|--|---|---|---|---|----------|
| <p>複素数平面</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複素数を表す点を複素数平面上に記す。</li> <li>複素数の加法、減法、実数倍、絶対値の複素数平面における図形的意味を理解する。</li> <li>複素数を極形式で表し、複素数の積、商を求める。</li> <li>複素数の <math>n</math> 乗を求める。</li> <li>複素数の <math>n</math> 乗根を求める。</li> <li>線分の内分点や複素数の方程式で表される図形を求める。</li> <li>ある点を中心に回転した点を表す複素数や半直線のなす角を求める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複素数の乗法、除法の図形的意味を理解し、活用する。</li> <li>複素数の <math>n</math> 乗根の性質について考察する。</li> <li>複素数平面上の三角形の形状について考察する。</li> <li>複素数の変換について考察する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複素数平面や極形式の有用性を理解し、活用する。</li> <li>図形の問題を、複素数の演算の図形的意味を用いて積極的に考察する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>複素数平面</li> <li>複素数の極形式と乗法、除法</li> <li>ド・モアブルの定理</li> <li>複素数と図形</li> <li>教材</li> <li>サクシード（数研出版）</li> <li>チャート式基礎からの数学（数研出版）</li> <li>一人1台端末の活用等</li> <li>Classi Note他</li> </ul> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複素数を表す点を複素数平面上に記すことができる。</li> <li>複素数の加法、減法、実数倍、絶対値の複素数平面における図形的意味を理解している。</li> <li>複素数を極形式で表して、複素数の積、商を求められる。</li> <li>ド・モアブルの定理を用いて、複素数の <math>n</math> 乗を求められる。</li> <li>極形式を用いて、複素数の <math>n</math> 乗根を求められる。</li> <li>線分の内分点・外分点や複素数の方程式で表される図形を求められる。</li> <li>ある点を中心に回転した点を表す複素数や半直線のなす角を求められる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複素数の乗法、除法の図形的意味を理解し、活用できる。</li> <li>複素数の <math>n</math> 乗根の性質について考察できる。</li> <li>複素数平面上の三角形の形状について考察できる。</li> <li>複素数の変換について考察できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複素数平面や極形式の有用性を理解し、活用しようとする。</li> <li>図形の問題を、複素数の演算の図形的意味を用いて積極的に考察しようとする。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 12       |
| 定期考査  |  |   | ○ | ○ | ○ | 1        |



高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学演習Ⅰ・A

教科: 0 科目: 数学演習Ⅰ・A 単位数: 2 単位  
 対象学年組: 第3学年 1組～8組  
 教科担当者: (組: ) (組: ) (組: ) (組: ) (組: ) (組: )  
 使用副教材: (「新課程 大学入学共通テスト対策ニューステージ数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C 受験編」(数研出版) )  
 (「新課程 メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C [ベクトル] 受験編」(数研出版) )  
 (「2026共通テスト対策 実力完成 直前演習 数学Ⅰ・A」(進研学参) )

- 教科 0 の目標:
- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習Ⅰ・A の目標:

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|--|---|
| 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

|             | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 思 態 |   |   | 配当<br>時数 |
|-------------|--|---|---|-------|---|---|----------|
|             |  |   |   |       |   |   |          |
| 1<br>学<br>期 | 単元ごとの基本的な大学入試問題を取り扱うことにより、既習内容の定着を図る。<br>大学入試問題の演習を通して、大学入学共通テストや個別試験に対応した基本的な計算力や数学的な思考力を身につけさせる。               | 基礎力養成演習(単元別演習)<br><br>【数学Ⅰ】<br>・式の計算(1)<br>・式の計算(2)<br>・1次不等式<br>・集合<br>・命題と論証<br>・2次関数<br>・2次関数の最大・最小<br>・2次方程式と2次不等式<br>・三角比の基本<br>・三角比と図形(1)<br>・三角比と図形(2)   | ・単元ごとの基本的事項を理解できているか。<br>・基本的な大学入試問題を処理できる計算力が身についているか。<br>・基本的な大学入試問題に対応できる記述力が身についているか。               | ○     | ○ | ○ | 12       |
|             | 定期考査   |   |   | ○     | ○ | ○ | 1        |
|             | 単元ごとの基本的な大学入試問題を取り扱うことにより、既習内容の定着を図る。<br>大学入試問題の演習を通して、大学入学共通テストや個別試験に対応した基本的な計算力や数学的な思考力を身につけさせる。               | ・データの代表値と散らばり<br>・データの相関<br>・仮説検定の考え方<br><br>【数学A】<br>・場合の数・順列(1)<br>・順列(2)・組合せ<br>・確率(1)<br>・確率(2)<br>・平面図形(1)<br>・平面図形(2)<br>・空間図形<br>・整数の性質                  | ・単元ごとの基本的事項を理解できているか。<br>・基本的な大学入試問題を処理できる計算力が身についているか。<br>・基本的な大学入試問題に対応できる記述力が身についているか。               | ○     | ○ | ○ | 12       |
| 定期考査        |  |   | ○   | ○     | ○ | 1 |          |
| 2<br>学<br>期 | 発展的内容の大学入試問題を取り扱うことにより、応用力の育成を図る。<br>大学入学共通テストの実践問題の演習を行い、実力養成を図る。<br>分野横断型の融合問題なども取り入れた大学入試問題演習を行い、応用力を身につけさせる。 | 応用力養成演習(単元別演習)<br><br>【数学Ⅰ】<br>実践問題—数と式、集合と命題<br>実践問題—2次関数<br>実践問題—図形と計量<br>実践問題—データの分析<br><br>【数学A】<br>実践問題—場合の数と確率<br>実践問題—図形の性質<br>実践問題—整数の性質<br><br>・総合問題演習 | ・確かな計算力や記述力に基づいた実践的な応用力が身についたか。<br>・大学入学共通テストに対応できる処理能力や思考力が身についたか。<br>・総合問題などにも対応できる思考力や答案作成能力が身についたか。 | ○     | ○ | ○ | 15       |
|             | 定期考査   |   |   | ○     | ○ | ○ | 1        |

|             |  |  |  |   |   |   |    |
|-------------|--|--|--|---|---|---|----|
|             | <p>発展的内容の大学入試問題を取り扱うことにより、応用力の育成を図る。<br/>         大学入学共通テストの実践問題の演習を行い、実力養成を図る。<br/>         分野横断型の融合問題なども取り入れた大学入試問題演習を行い、応用力を身につけさせる。</p>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>大学入学共通テスト実践問題演習</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>確かな計算力や記述力に基づいた実践的な応用力が身についたか。</li> <li>大学入学共通テストに対応できる処理能力や思考力が身についたか。</li> <li>総合問題などにも対応できる思考力や答案作成能力が身についたか。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 15 |
|             | 定期考査   |  |  | ○ | ○ | ○ | 1  |
| 3<br>学<br>期 | <p>発展的内容の大学入試問題を取り扱うことにより、応用力の育成を図る。<br/>         大学入学共通テストの実践問題の演習を行い、実力養成を図る。<br/>         分野横断型の融合問題なども取り入れた大学入試問題演習を行い、応用力を身につけさせる。<br/>         個別の論述指導を行い、論述力を身につけさせる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>大学入学共通テスト実践問題演習</li> <li>国公立大学2次試験や難関私立大学の論述指導</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>大学入学共通テストに対応できる処理能力や思考力が身についたか。</li> <li>総合問題などにも対応できる思考力や答案作成能力が身についたか。</li> </ul>   | ○ | ○ | ○ | 20 |
|             |  |  |  |   |   |   | 合計 |
|             |  |  |  |   |   |   | 78 |

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

数学 科目 数学演習Ⅱ・B・C

教科： 0

科目： 数学演習Ⅱ・B・C

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： )

使用副教材： ( 「新課程 大学入学共通テスト対策ニューステージ数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C 受験編」 (数研出版) )

( 「新課程 メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C [ベクトル] 受験編」 (数研出版) )

( 「2026共通テスト対策 実力完成 直前演習 数学Ⅱ・B・C」 (進研学参) )

教科 0 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習Ⅱ・B・C の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|---|---|
| いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分、数列、統計的な推測、ベクトルの考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|---|---|---|---|---|----------|
| 単元ごとの基本的な大学入試問題を取り扱うことにより、既習内容の定着を図る。<br>大学入試問題の演習を通して、大学入学共通テストや個別試験に対応した基本的な計算力や数学的な思考力を身につけさせる。 | 基礎力養成演習（単元別演習）<br><br>【数学Ⅱ】<br>・式と証明<br>・複素数と方程式(1)<br>・複素数と方程式(2)<br>・点・直線・円<br>・曲線と直線<br>・軌跡と領域<br>・三角関数(1)<br>・三角関数(2)<br>・指数関数<br>・対数関数<br>・導関数と接線<br>・関数の値の変化、最大・最小<br>・微分法の応用 | ・単元ごとの基本的事項を理解できているか。<br>・基本的な大学入試問題を処理できる計算力が身についているか。<br>・基本的な大学入試問題に対応できる記述力が身についているか。 | ○ | ○ | ○ | 12       |
| 1<br>学期<br>定期考査  |   |   | ○ | ○ | ○ | 1        |
| 単元ごとの基本的な大学入試問題を取り扱うことにより、既習内容の定着を図る。<br>大学入試問題の演習を通して、大学入学共通テストや個別試験に対応した基本的な計算力や数学的な思考力を身につけさせる。 | ・不定積分・定積分<br>・面積<br><br>【数学B】<br>・等差数列・等比数列<br>・種々の数列<br>・漸化式と数列<br>・数学的帰納法、数列の応用<br>・統計的な推測(1)<br>・統計的な推測(2)<br>・統計的な推測(3)<br><br>【数学C】<br>・ベクトルの基本<br>・平面ベクトルと図形<br>・空間ベクトルと図形    | ・単元ごとの基本的事項を理解できているか。<br>・基本的な大学入試問題を処理できる計算力が身についているか。<br>・基本的な大学入試問題に対応できる記述力が身についているか。 | ○ | ○ | ○ | 12       |
| 定期考査   |   |   | ○ | ○ | ○ | 1        |



高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

数学 科目 数学総合演習

教科：0

科目：数学総合演習

単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用副教材：（ 「新課程 メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕受験編」（数研出版） ）

（ 「新課程 クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」（数研出版） ）

教科 0 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学総合演習 の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|---|---|
| 極限、微分法及び積分法、ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。 | 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 | 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|---|---|---|---|---|----------|
| 単元ごとの基本的な大学入試問題を取り扱うことにより、既習内容の定着を図る。<br>大学入試問題の演習を通して、大学入学共通テストや個別試験に対応した基本的な計算力や数学的な思考力を身につけさせる。 | 【数学Ⅲ】<br>関数<br>・分数関数<br>・無理関数<br>・逆関数と合成関数<br>極限<br>・数列の極限<br>・無限等比数列<br>・無限級数<br>・関数の極限<br>・三角関数と極限<br>・関数の連続性<br>微分法<br>・微分係数と導関数<br>・導関数の計算<br>・いろいろな関数の導関数<br>・第n次導関数<br>・関数のいろいろな表し方と導関数<br>微分法の応用<br>・接線と法線<br>・平均値の定理<br>・関数の値の変化<br>・関数の最大と最小<br>・関数のグラフ<br>・方程式・不等式への応用<br>・速度と加速度<br>・近似式 | ・単元ごとの基本的事項を理解できているか。<br>・基本的な大学入試問題を処理できる計算力が身についているか。<br>・基本的な大学入試問題に対応できる記述力が身についているか。 | ○ | ○ | ○ | 12       |
| 定期考査   |   |   | ○ | ○ | ○ | 1        |

|             |   |  |  |   |   |   |    |
|-------------|---|--|--|---|---|---|----|
| 1<br>学<br>期 | <p>単元ごとの基本的な大学入試問題を取り扱うことにより、既習内容の定着を図る。<br/>大学入試問題の演習を通して、大学入学共通テストや個別試験に対応した基本的な計算力や数学的な思考力を身につけさせる。</p>                | <p>積分法<br/>・不定積分とその基本性質<br/>・置換積分法<br/>・部分積分法<br/>・いろいろな関数の不定積分<br/>・定積分とその基本性質<br/>・定積分の置換積分法<br/>・定積分の部分積分法<br/>・定積分の種々の問題<br/>積分法の応用<br/>・面積<br/>・体積<br/>・曲線の長さ<br/>・速度と道のり</p> <p>【数学C】<br/>平面上のベクトル<br/>・ベクトルとその演算<br/>・ベクトルと平面図形<br/>空間のベクトル<br/>・空間の座標<br/>・ベクトルとその演算<br/>・座標空間における図形<br/>複素数平面<br/>・複素数平面<br/>・複素数の極形式と乗法・除法<br/>・ド・モアブルの定理<br/>・複素数と図形<br/>式と曲線<br/>・放物線<br/>・楕円<br/>・双曲線<br/>・2次曲線の平行移動<br/>・2次曲線と直線<br/>・2次曲線の性質<br/>・曲線の媒介変数表示<br/>・極座標と極方程式</p> | <p>・単元ごとの基本的事項を理解できているか。<br/>・基本的な大学入試問題を処理できる計算力が身につけているか。<br/>・基本的な大学入試問題に対応できる記述力が身につけているか。</p>               | ○ | ○ | ○ | 12 |
|             | 定期考査  |  |  | ○ | ○ | ○ | 1  |
| 2<br>学<br>期 | <p>発展的内容の大学入試問題を取り扱うことにより、応用力の育成を図る。<br/>大学入学共通テストの実践問題の演習を行い、実力養成を図る。<br/>分野横断型の融合問題なども取り入れた大学入試問題演習を行い、応用力を身につけさせる。</p> | <p>【数学I・II】<br/>・式の計算<br/>・恒等式・割り算の問題<br/>・方程式・不等式の解法<br/>・関数とグラフ<br/>・最大・最小<br/>・2次方程式の理論<br/>・種々の方程式の問題<br/>・不等式の種々の問題<br/>・式の値、二項定理<br/>・等式・不等式の証明<br/>・集合と論証<br/>・点と直線<br/>・曲線と直線<br/>・軌跡と領域<br/>・図形と式の種々の問題</p> <p>【数学A・B】<br/>・約数と倍数<br/>・不定方程式<br/>・整数の種々の問題<br/>・場合の数、順列<br/>・組合せ<br/>・確率</p>  | <p>・確かな計算力や記述力に基づいた実践的な応用力が身についたか。<br/>・大学入学共通テストに対応できる処理能力や思考力が身についたか。<br/>・総合問題などにも対応できる思考力や答案作成能力が身についたか。</p> | ○ | ○ | ○ | 15 |
|             | 定期考査  |  |  | ○ | ○ | ○ | 1  |



年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理

教科：理科 科目：物理 単位数：5 単位  
 対象学年組：第3学年 1組～8組  
 教科担当者：（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）  
 使用教科書：（数研出版 物理）  
 教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理 の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|--|---|
| ・物理の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。<br>・観察・実験などの基本操作を習得している。<br>・観察・実験の過程や結果を的確に記録・整理し、それらを科学的に探究する技能を身に付けている。 | ・物理の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察・実験などを行っている。<br>・観察・実験などから得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。 | ・実験・実習に意欲的に取り組み、その後の考察をきちんと行っている。<br>・物理の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとしている。<br>・探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に活かそうとしている。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|---|--|---|---|---|----------|
| 第3編 波<br>【知識及び技能】<br>・波動に関する公式を暗記するのではなく、妥当性を見出させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・学習した内容をもとに、問題演習においてどのように活用することができるのか考えさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・自ら問題演習を行う環境を整え、受験を意識させる。       | ・指導事項<br>1 波の伝わり方<br>2 音の伝わり方<br>3 光<br>・教材<br>教科書、プリント、実験機器<br>プロジェクター等<br>・一人1台端末の活用 等<br>iPad                | 【知識・技能】<br>・波動について理解し、さまざまな関係式を正しく適用できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・ドップラー効果について、その周囲で音がどのように変化するかを考えることができる。<br>・光の干渉で光が強めあうときの条件を説明することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・授業に主体的に参加している。 | ○ | ○ | ○ | 18       |
| 第1編 力と運動<br>【知識及び技能】<br>・運動に関する公式を暗記するのではなく、妥当性を見出させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・学習した内容をもとに、問題演習においてどのように活用することができるのか考えさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・自ら問題演習を行う環境を整え、受験を意識させる。    | ・指導事項<br>1 平面内の運動<br>2 剛体<br>3 運動量の保存<br>4 円運動と万有引力<br>・教材<br>教科書、プリント、実験機器<br>プロジェクター等<br>・一人1台端末の活用 等<br>iPad | 【知識・技能】<br>・力学について理解し、さまざまな関係式を正しく適用できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・物体の運動を理解し、事象について説明することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・授業に主体的に参加している。   | ○ | ○ | ○ | 30       |
| 定期考査  |   |  | ○ | ○ |   | 1        |
| 第2編 熱と気体<br>【知識及び技能】<br>・熱力学に関する公式を暗記するのではなく、妥当性を見出させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・学習した内容をもとに、問題演習においてどのように活用することができるのか考えさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・自ら問題演習を行う環境を整え、受験を意識させる。   | ・指導事項<br>1 気体のエネルギーと状態変化<br>・教材<br>教科書、プリント、実験機器<br>プロジェクター等<br>・一人1台端末の活用 等<br>iPad                            | 【知識・技能】<br>・熱力学について理解し、さまざまな関係式を正しく適用できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・状態変化について理解し、説明することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・授業に主体的に参加している。  | ○ | ○ | ○ | 15       |
| 定期考査  |   |  | ○ | ○ |   | 1        |
| 第4編 電気と磁気<br>【知識及び技能】<br>・電磁気学に関する公式を暗記するのではなく、妥当性を見出させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・学習した内容をもとに、問題演習においてどのように活用することができるのか考えさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・自ら問題演習を行う環境を整え、受験を意識させる。 | ・指導事項<br>1 電場<br>2 電流<br>3 電流と磁場<br>4 電磁誘導と電磁波<br>・教材<br>教科書、プリント、実験機器<br>プロジェクター等<br>・一人1台端末の活用 等<br>iPad      | 【知識・技能】<br>・電磁気学について理解し、さまざまな関係式を正しく適用できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・電気の性質について理解し、電気的な力や作用について説明できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・授業に主体的に参加している。   | ○ | ○ | ○ | 30       |

|             |        |   |   |   |   |    |     |
|-------------|--------|---|---|---|---|----|-----|
| 2<br>学<br>期 | 第5編 原子 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>1 電子と光</li> <li>2 原子と原子核</li> <li>・教材</li> <li>教科書、プリント、実験機器</li> <li>プロジェクター等</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> <li>iPad</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知識・技能】</li> <li>・原子について理解し、さまざまな関係式を正しく適用できる。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・電子の波動性や光の粒子性について理解している。</li> <li>・原子核や放射線について正しく理解し、事象について説明できる。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・授業に主体的に参加している。</li> </ul> | ○ | ○ | ○  | 20  |
|             | 定期考査   |   |   | ○ | ○ |    | 1   |
|             | 入試問題演習 | 問題演習  |   | ○ | ○ | ○  | 28  |
|             | 定期考査   |   |   | ○ | ○ |    | 1   |
| 3<br>学<br>期 | 入試問題演習 | 問題演習  |   | ○ | ○ | ○  | 50  |
|             |        |   |   |   |   | 合計 | 195 |

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学

教科: 理科 科目: 化学 単位数: 5 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組 ~ 8 組

教科担当者: (1 組: . ) ~ (8 組: . )

使用教科書: ( 化学 (数研出版) )

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標:

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|--|---|
| 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 | 自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 | 自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|--|---|---|---|---|----------|
| <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気分解、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について理解させる。</li> </ul> <p>【思考、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気分解、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について、問題を見出し、実証的、論理的に考察して問題解決し、科学的に判断できるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学的な事物・事象のうち、電気分解、物質の状態変化とその平衡及び溶液の性質について関心や探究心を持ち、意欲的にそれらの理解や探究に取り組むとともに、科学的な自然観を身に付けさせる。</li> </ul>  | <p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気分解</li> <li>粒子の結合と結晶の構造</li> <li>物質の三態と状態変化</li> <li>気体</li> <li>溶液</li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「セミナー化学・化学基礎」(第一学習社)</li> <li>「チェック&amp;演習化学」(数研出版)</li> </ul> <p>パワーマックス 共通テスト対応<br/>模試「化学」(Z会出版社)</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気分解に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、基本的な知識を身に付けている。</li> <li>物質の状態変化とその平衡に関する観察、実験、探究活動などを通して、それらについての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気分解、物質の状態変化とその平衡について問題を見だし、観察、実験あるいは事実の分析や総合的把握を通じて、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断することができる。</li> <li>化学的な事物・事象のうち、電気分解、物質の状態変化とその平衡について関心や探究心を持ち、意欲的にそれらの理解や探究に取り組むとともに、科学的な自然観を身に付けている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学的な事物・事象のうち、電気分解、物質の状態変化とその平衡について関心や探究心を持ち、意欲的にそれらの理解や探究に取り組むとともに、科学的な自然観を身に付けている。</li> </ul>  | ○ | ○ | ○ | 40       |
| 定期考査   |  |   | ○ | ○ | ○ | 1        |
| <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応と熱・光に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解させる。</li> <li>化学反応の速さと化学平衡に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解させる。</li> <li>無機物質に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解させる。</li> </ul> <p>【思考、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応とエネルギーとしての熱・光の出入りに関する事物・現象の中に問題を見だし、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できるようにする。</li> <li>化学反応の速さと化学平衡に関する事物・現象の中に問題を見だし、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できるようにする。</li> <li>無機物質に関する事物・現象の中に問題を見だし、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応と熱・光、関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けさせる。</li> <li>化学反応の速さと化学平衡に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けさせる。</li> <li>無機物質に関する事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けさせる。</li> </ul> | <p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応とエネルギー</li> <li>化学反応としくみ</li> <li>化学平衡</li> <li>非金属元素</li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「セミナー化学・化学基礎」(第一学習社)</li> <li>「チェック&amp;演習化学」(数研出版)</li> </ul> <p>パワーマックス 共通テスト対応<br/>模試「化学」(Z会出版社)</p>             | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観察、実験などを通して、化学反応と熱・光に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、基本的な知識を身に付けている。</li> <li>観察、実験などを通して、化学反応の速さと化学平衡に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応とエネルギーとしての熱・光の出入りに関する事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを通じて、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できる。</li> <li>化学反応の速さとその要因、化学平衡の原理とその移動に関する事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを通じて、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できる。</li> <li>無機物質に関する事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを通じて、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応と熱・光、電池と電気分解に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>化学反応の速さと化学平衡に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>無機物質に関する事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 45       |
| 定期考査   |  |   | ○ | ○ | ○ | 1        |

|         |   |   |   |   |   |     |    |
|---------|---|---|---|---|---|-----|----|
| 2<br>学期 | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無機物質に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解させる。</li> <li>有機化合物に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解させる。</li> </ul> <p>【思考、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無機物質に関する事物・現象の中に問題を見だし、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できるようにする。</li> <li>有機化合物に関する事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを通じて、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無機物質に関する事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けさせる。</li> <li>有機化合物に関する事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けさせる。</li> </ul>       | <p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金属元素</li> <li>有機化合物 1</li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「セミナー化学・化学基礎」(第一学習社)</li> <li>「チェック&amp;演習化学」(教研出版)</li> <li>「パワーマックス 共通テスト対応模試 化学」(Z会出版社)</li> </ul>                      | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観察、実験などを通して、無機物質に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>観察、実験などを通して、有機化合物に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無機物質に関する事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを通じて、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できる。</li> <li>有機化合物に関する事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを通じて、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無機物質に関する事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>有機化合物に関する事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。</li> </ul>   | ○ | ○ | ○   | 40 |
|         | 定期考査  |   |   | ○ | ○ | ○   | 1  |
|         | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有機化合物に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解させる。</li> <li>高分子化合物に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解させる。</li> </ul> <p>【思考、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有機化合物に関する事物・現象の中に問題を見だし、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できるようにする。</li> <li>高分子化合物に関する事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを通じて、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有機化合物に関する事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けさせる。</li> <li>高分子化合物に関する事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けさせる。</li> </ul> | <p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有機化合物 2</li> <li>天然有機化合物</li> <li>合成高分子化合物</li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「セミナー化学・化学基礎」(第一学習社)</li> <li>「チェック&amp;演習化学」(教研出版)</li> <li>「パワーマックス 共通テスト対応模試 化学」(Z会出版社)</li> </ul> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観察、実験などを通して、有機化合物に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>観察、実験などを通して、高分子化合物に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無機物質に関する事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを通じて、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できる。</li> <li>有機化合物に関する事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを通じて、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できる。</li> <li>高分子化合物に関する事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを通じて、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、科学的に判断できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有機化合物に関する事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>高分子化合物に関する事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○   | 45 |
| 定期考査    |   |   | ○   | ○ | ○ | 1   |    |
| 3<br>学期 | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な理解を深める。</li> </ul> <p>【思考、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な思考力、判断力、表現力等を身に付けさせる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学全般に関する興味関心を深め、化学的な考え方をできるようにする。</li> </ul>   | <p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習</li> <li>総合演習</li> <li>個別指導</li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「セミナー化学・化学基礎」(第一学習社)</li> <li>「チェック&amp;演習化学」(教研出版)</li> <li>「パワーマックス 共通テスト対応模試 化学」(Z会出版社)</li> </ul>         | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な理解ができる。</li> </ul> <p>【思考、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な思考力、判断力、表現力等が身に付いている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学全般に関する興味関心を深め、化学的な考え方が身についている。</li> </ul>  | ○ | ○ | ○   | 21 |
|         |   |   |   |   |   | 195 |    |

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物

教科：理科 科目：生物 単位数： 単位 5  
 対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組  
 教科担当者：（ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）  
 使用教科書：（ 高等学校 生物 東京書籍 ）

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--|--|--|
| 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象についての基本および発展的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 | 教科書、副教材を用いて学習内容をよく理解し副教材「リードα」の基本例題・基本問題の問題演習を中心に行い、基礎的な学習内容の定着をはかる。さらに演習をとおして思考力、判断力、表現力を向上させる。 | 【知識・技能】<br>学習範囲の基本問題を解ける知識が身につけているか。<br>【思考・判断・表現】<br>基本例題・基礎問題の解法を理解し、定期考査で類似の問題を解けているか。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>実験レポートに主体的に取り組む。副教材「リードα」の基礎チェックを予習する（授業の進行にあわせた小テストを実施する） |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---------------|---|--|---|---|---|----------|
| 1部 生物の進化      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の起源と生命の歴史</li> <li>・有性生殖と遺伝子の組み合わせ</li> <li>・進化の仕組みと要因</li> <li>・生物の系統</li> <li>・生命を構成する物質</li> <li>・タンパク質の構造とはたらき</li> <li>・酵素、輸送系たんぱく質</li> </ul> | <b>【知識・技能】</b><br>①進化についての基本事項を理解している。<br>②進化と系統について理解している。<br>③タンパク質についての基本構造と機能を理解している。④呼吸・光合成についての基本を理解している。<br><b>【思考・判断・表現】</b><br>①進化と系統についてデータをもとにその仕組みについて考えることができ説明できる。<br>②タンパク質のはたらきについて構造と機能について論理的に考察し発表できる。③代謝についてデータをもとに考察し説明できる。<br><b>【主体的学習に取り組む態度】</b> ①学習内容に主体的に関わり見通したりふりかえったりできる。 ②学習内容について科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 26       |
| 2部 生命現象と物質    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸の仕組み</li> <li>・光合成の仕組み</li> </ul>   |  |   |   |   |          |
| 中間考査          |   |  | ○ | ○ |   | 1        |
| 3部 遺伝情報の発現と発生 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝情報の複製</li> <li>・遺伝子の発現</li> <li>・スプライシング</li> <li>・遺伝子の発現調節</li> <li>・遺伝子組換え、ゲノム編集</li> <li>・PCR, 電気泳動</li> </ul>                                   | <b>【知識・技能】</b> ① DNA基本的構造と遺伝子発現について正確に理解している。②遺伝子発現調節について理解している。③バイオテクノロジーの原理を理解している。<br><b>【思考・判断・表現】</b> ①実験を通して遺伝子発現とその調節について理解しレポートにまとめられる。②遺伝子発現の意味について考察できる。<br><b>【主体的学習に取り組む態度】</b> ①実験、観察に積極的に取り組む  | ○ | ○ | ○ | 25       |

|             |               |  |   |   |   |    |     |
|-------------|---------------|--|---|---|---|----|-----|
| 2<br>学<br>期 | 3部 遺伝情報の発現と発生 | <ul style="list-style-type: none"> <li>動物・植物の配偶子形成</li> <li>ウニ、カエルの発生</li> <li>発生の仕組みと誘導</li> </ul>  | <p>【知識・技能】①動物の配偶子形成と遺伝子の多様性について理解している。②ウニ、カエルの発生の基本を理解している。③刺激と受容、感覚器について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】①配偶子形成における遺伝子組換えやその確率などをデータをもとに考察できる。②感覚器、神経系の機能について説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】与えられた資料をもとに積極的に考察し表現できる。</p> | ○ | ○ | ○  | 32  |
|             | 4部 生物の環境応答    | <ul style="list-style-type: none"> <li>刺激の受容と適刺激</li> <li>感覚器</li> <li>神経系</li> <li>効果器</li> </ul>   |   | ○ | ○ |    | 1   |
|             | 中間考査          |  |   | ○ | ○ |    | 1   |
| 3<br>学<br>期 | 4生物の環境応答      | <ul style="list-style-type: none"> <li>動物の行動</li> <li>植物の環境応答</li> <li>発芽と成長</li> <li>個体群とその変動</li> <li>種間関係</li> <li>生態系の物質収支とエネルギー</li> <li>人間生活と生態系・環境</li> </ul> | <p>【知識・技能】①動物の行動について理解している。②植物の環境応答について理解している。【思考・判断・表現】①動物の行動と生存戦略について考え説明できる。②植物の環境応答と環境に適応について考えることができ説明できる。③生態系の物質収支とエネルギーについてデータをもとに考察することができる。【主体的に学習に取り組む態度】① 動植物の環境に対する適応について主体的に学ぶ態度と積極性がある。</p>       | ○ | ○ | ○  | 30  |
|             | 5部生態と環境       |  |   | ○ | ○ |    | 1   |
|             | 期末考査          |  |   | ○ | ○ |    | 1   |
|             | 全範囲の復習        |  |   | ○ | ○ | ○  | 40  |
|             |               |  |   |   |   | 合計 | 156 |



年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学基礎演習

教科：理科 科目：化学基礎演習 単位数：2 単位  
 対象学年組：第3学年 1組～8組  
 教科担当者：(組： ) (組： ) (組： ) (組： ) (組： ) (組： )  
 使用教科書：( )

教科 理科 の目標：  
 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。  
 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎演習 の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|--|--|
| ・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。・観察・実験などの基本操作を習得している。・観察・実験の課程や結果を的確に記録・整理し、それらを科学的に探究する技能を身につけている。 | ・自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。・授業の成果を生かして社会や生活との関連を考えられる。・発展的な内容についても思考を展開させられる。 | ・自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとしている。・探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。 |

|             | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|----------|
|             |   |   |   |   |   |   |          |
| 1<br>学<br>期 | 原子の電子配置・化学結合<br>原子の基本的な構造と化学結合に関して、基本的な知識を確認し、その規則性について理解する。  | 教科書を用いて、当該単元の基本事項の確認を行う。<br>また、補助教材の「大学入学共通テスト対策問題集」を用いて問題演習を行い、学習内容の定着と、他分野とのかかわりについて理解する。 | 【知識・技能】<br>化学基礎の範囲の基本問題を解けるだけの知識が身につけている。<br><br>【思考・判断・表現】<br>文章の読解が必要な問題やグラフの読解が必要な問題、実験結果が与えられて、そこから結論を導く問題など、単純な知識やテクニックで正解にたどり着けない問題を解くことができる。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>化学基礎の学習に、計画的に取り組むことができている。<br>一度解いた問題の解法を身に付けることができている。 | ○ | ○ | ○ | 15       |
|             |   | 中間考査  |   | ○ | ○ | ○ | 1        |
|             | 物質と化学反応式<br>物質の質量の表し方と物質の量の表し方について、基本的な知識を確認し、それら相互の関係について理解する。<br>また、化学反応の量的関係について、化学反応式との関係に着目して理解する。<br><br>酸と塩基<br>酸と塩基について、主に知識に着目して基礎事項の確認を行う。<br><br>酸化還元反応<br>酸化還元反応について、主に知識に着目して基礎事項の確認を行う。 | 教科書を用いて、当該単元の基本事項の確認を行う。<br>また、補助教材の「大学入学共通テスト対策問題集」を用いて問題演習を行い、学習内容の定着と、他分野とのかかわりについて理解する。 | 【知識・技能】<br>化学基礎の範囲の基本問題を解けるだけの知識が身につけている。<br><br>【思考・判断・表現】<br>文章の読解が必要な問題やグラフの読解が必要な問題、実験結果が与えられて、そこから結論を導く問題など、単純な知識やテクニックで正解にたどり着けない問題を解くことができる。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>化学基礎の学習に、計画的に取り組むことができている。<br>一度解いた問題の解法を身に付けることができている。 | ○ | ○ | ○ | 21       |
|             | 期末考査  |   | ○   | ○ | ○ | 1 |          |

|             |   |  |   |   |   |    |    |
|-------------|---|--|---|---|---|----|----|
| 2<br>学<br>期 | <p>酸と塩基<br/>酸と塩基について、主に定量的な扱いが必要な計算問題に着目して知識の確認、基礎事項の確認、解法の確認を行う。</p> <p>酸化還元反応<br/>酸化還元反応について、主に定量的な扱いが必要な計算問題に着目して知識の確認、基礎事項の確認、解法の確認を行う。</p> | <p>教科書を用いて、当該単元の基本事項の確認を行う。</p> <p>また、補助教材の「大学入学共通テスト対策問題集」を用いて問題演習を行い、学習内容の定着と、他分野とのかかわりについて理解する。</p> | <p>【知識・技能】<br/>化学基礎の範囲の基本問題を解けるだけの知識が身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>文章の読解が必要な問題やグラフの読解が必要な問題、実験結果が与えられて、そこから結論を導く問題など、単純な知識やテクニックで正解にたどり着けない問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>化学基礎の学習に、計画的に取り組むことができている。<br/>一度解いた問題の解法を身につけることができている。</p>    | ○ | ○ | ○  | 19 |
|             |   | 中間考査   |   | ○ | ○ | ○  | 1  |
|             | <p>日常生活と化学・実験操作・思考問題<br/>分野横断型の出題に対応できるよう、例題を参考にして着眼点を確認する。</p>   | <p>補助教材の「大学入学共通テスト対策問題集」を用いて問題演習を行う。また、必要に応じて共通テストの過去問についても題材として取り上げる。</p>                             | <p>【知識・技能】<br/>共通テストレベルの問題を解くのに必要な知識や技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>文章の読解が必要な問題やグラフの読解が必要な問題、実験結果が与えられて、そこから結論を導く問題など、単純な知識やテクニックで正解にたどり着けない問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>化学基礎の学習に、計画的に取り組むことができている。<br/>一度解いた問題の解法を身につけることができている。</p> | ○ | ○ | ○  | 17 |
|             |   | 期末考査   |   | ○ | ○ | ○  | 1  |
| 3<br>学<br>期 | <p>共通テスト対策の総合演習を行う。</p> <p>個別指導</p>   | <p>補助教材の「大学入学共通テスト対策問題集」を用いて問題演習を行う。また、必要に応じて共通テストの過去問についても題材として取り上げる。</p> <p>必要に応じて個別指導を実施する。</p>     | <p>【知識・技能】<br/>共通テストレベルの問題を解くのに必要な知識や技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>文章の読解が必要な問題やグラフの読解が必要な問題、実験結果が与えられて、そこから結論を導く問題など、単純な知識やテクニックで正解にたどり着けない問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>化学基礎の学習に、計画的に取り組むことができている。<br/>一度解いた問題の解法を身につけることができている。</p> | ○ | ○ | ○  | 2  |
|             |   |  |   |   |   | 合計 | 78 |

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

理科

科目 生物基礎演習

教科：理科

科目：生物基礎演習

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ ）

使用教科書：（ 高等学校 生物基礎 （啓林館） ）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎演習

の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|---|--|
| 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 | 生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 | 生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究している。また、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 |

|             | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 評価規準   | 知 思 態 |   |   | 配当<br>時数 |
|-------------|---|--|--|-------|---|---|----------|
|             |   |  |  |       |   |   |          |
| 1<br>学<br>期 | *生物の特徴<br>様々な生物を比較し、生物には多様性がある一方で共通性があることを見いだす。<br>*遺伝子とその働き<br>遺伝情報に基づくタンパク質合成の過程である、転写と翻訳の過程を理解する。<br>*生物の体内環境<br>神経やホルモンによる情報の伝達、体内環境の維持の仕組みを理解する  | 教科書を用いて、1学年の学習内容を復習し、各学習内容の基本事項を確認する。<br>副教材「ニューグローバル生物基礎」の基本例題・基本問題の問題演習を中心に行い、基礎的な学習内容の定着をはかる。 | 【知識・技能】<br>学習範囲の基本問題を解ける知識が身についているか。<br><br>【思考・判断・表現】<br>基本例題・基礎問題の解法を理解し、定期考査で類似の問題を解けているか。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>副教材「ニューグローバル生物基礎」の基礎チェックを予習する（授業開始時に小テストを実施） | ○     | ○ | ○ | 15       |
|             | 中間考査  |  |  | ○     | ○ |   | 1        |
|             | *免疫<br>生体防御には、自然免疫と獲得免疫があり、異物（非自己）を排除する防御機構が生体に備わっていることを理解する。<br>*バイオームの多様性と分布<br>バイオームの形成過程や、それぞれにバイオームを成立させる環境要因について理解する。<br>*生態系とその保全<br>生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、生態系のバランスと保全を理解する。また、生態系の保全の重要性について認識する。 | 教科書を用いて1学年での学習内容を復習して各学習内容の基本事項を確認する。<br>副教材「ニューグローバル生物基礎」の基本例題・基本問題の問題演習を中心に行い、基礎的な学習内容の定着をはかる。 | 【知識・技能】<br>学習範囲の基本問題を解ける知識が身についているか。<br><br>【思考・判断・表現】<br>基本例題・基礎問題の解法を理解し、定期考査で類似の問題を解けているか。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>副教材「ニューグローバル生物基礎」の基礎チェックを予習する（授業開始時に小テストを実施） | ○     | ○ | ○ | 21       |
| 期末考査        |   |  |  | ○     | ○ |   | 1        |

|             |   |   |  |   |   |    |    |
|-------------|---|---|--|---|---|----|----|
| 2<br>学<br>期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>*生物の特徴</li> <li>*遺伝子とその働き</li> <li>*生物の体内環境</li> <li>*バイオームの多様性と分布</li> <li>*生態系とその保全</li> </ul> | 副教材「ニューグローバル生物基礎」の発展例題・発展問題の問題演習を中心に行い、グラフや表などを読み取る力を身につける。 | <p>【知識・技能】<br/>学習範囲の発展問題を解ける知識が身につけているか。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>発展例題・発展問題の解法を理解し、定期考査で類似の問題を解けているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>1学期に学習した副教材「ニューグローバル生物基礎」の基本問題を復習する（授業開始時に小テストを実施）</p> | ○ | ○ | ○  | 19 |
|             | 中間考査  |   |  | ○ | ○ |    | 1  |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>*生物の特徴</li> <li>*遺伝子とその働き</li> <li>*生物の体内環境</li> <li>*バイオームの多様性と分布</li> <li>*生態系とその保全</li> </ul> | 大学入学試験レベルの演習問題に取り組み、応用力を養うと同時に実践力をつける。                      | <p>【知識・技能】<br/>共通テストレベルの問題を解ける知識が身につけているか。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>グラフや表の数値を読み取る方法を身につけ、問題演習を通して、論理的な思考による問題を解く力が身につけているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>演習問題の復習に取り組んでいるか。</p>            | ○ | ○ | ○  | 17 |
| 期末考査        |   |   | ○  | ○ |   | 1  |    |
| 3<br>学<br>期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>*生物の特徴</li> <li>*遺伝子とその働き</li> <li>*生物の体内環境</li> <li>*バイオームの多様性と分布</li> <li>*生態系とその保全</li> </ul> | 大学入学試験レベルの演習問題に取り組み、応用力を養うと同時に実践力をつける。                      | <p>【知識・技能】<br/>共通テストレベルの問題を解ける知識が身につけているか。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>グラフや表の数値を読み取る方法を身につけ、問題演習を通して、論理的な思考による問題を解く力が身につけているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>演習問題の復習に取り組んでいるか。</p>            | ○ | ○ | ○  | 1  |
|             | 生物基礎 全範囲  | 個別指導により、受験校の過去問題の分析及び対策を行う。                                 | 個別指導の中で【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を確認する。  | ○ | ○ | ○  | 1  |
|             |   |   |  |   |   | 合計 | 78 |

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 1組～8組

教科担当者：（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館） 副教材：ステップアップ高校スポーツ）

教科 保健体育 の目標：生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養

科目 体育 の目標：生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|--|---|
| 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 | 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|---|---|---|---|---|----------|
| ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。<br>・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。<br>・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。<br>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。<br>体づくり運動<br>【知識及び技能】<br>手軽な運動を仲間と共同して実施する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>卒業後も自身で体をほぐす運動を選択し、実施する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>仲間と積極的に関わり、運動課題に挑戦する。 | ・種目選択①ニュースポーツ（ユニホック・ターゲットバードゴルフ・アルティメット）【2単位】<br>・バレーボール、ミニサッカーの基本およびゲーム【1単位】 | 【知識・技能】<br>・シュートやトライをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動すること<br>・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。<br>・ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。<br>・仲間と運動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。<br>・相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。<br>・ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールをとらえることができる。<br>・打球のバウンドやコースに応じて、タイミングを合わせてボールを捕ることができる。<br>・投球では、コースや高さをコントロールして投げるができる。<br>【思考判断表現力】<br>・チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。<br>・練習やゲームの場面で、チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を提案することができる。<br>・球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けることができる。<br>【学びに向かう力、人間性】<br>・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。<br>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするすることができる。<br>・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとすることができる<br>・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができる。<br>【知識及び技能】<br>・手軽な運動を仲間と共同して実施することができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>卒業後も自身で体をほぐす運動を選択し、実施することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>仲間と積極的に関わり、運動課題に挑戦することができる。 | ○ | ○ | ○ | 26       |
|  |   |   |   | ○ | ○ | ○        |

1 学期

|             |  |  |   |   |   |   |    |
|-------------|--|--|---|---|---|---|----|
| 2<br>学<br>期 | <p>・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>体育理論<br/>【知識及び技能】<br/>豊かなスポーツライフの設計に関して理解する。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>豊かなスポーツライフの設計の仕方に関して、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考判断し、他者に説明させる。<br/>【学びに向かう力、人間性等】<br/>豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む。</p> | <p>・選択種目②（卓球、バスケットボール、ソフトボール）の基本およびゲーム【2単位】</p> <p>・サッカー、バレーボールの基本およびゲーム【1単位】</p> <p>各ライフステージにおいて多様な楽しみ方があることを学ばせる。『する・みる・支える・知る』の視点を積極的に教授するとともに、卒業してからも豊かなスポーツライフを送れるように指導をする。</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シュートやトライをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動すること</li> <li>・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。</li> <li>・ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。</li> <li>・仲間と連動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。</li> <li>・相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。</li> <li>・ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールをとらえることができる。</li> <li>・打球のパウンドやコースに応じて、タイミングを合わせてボールを捕ることができる。</li> <li>・投球では、コースや高さをコントロールして投げるができる。</li> </ul> <p>【思考判断表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。</li> <li>・練習やゲームの場面で、チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を提案することができる。</li> <li>・球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。</li> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするができる。</li> <li>・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとすることができる</li> <li>・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができる。</li> </ul>     | ○ | ○ | ○ | 32 |
|             | <p>・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p>   | <p>・選択種目③（バドミントン、テニス、アルティメット）の基本およびゲーム【2単位】</p> <p>・サッカー、バレーボールの基本およびゲーム【1単位】</p>  | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シュートやトライをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動すること</li> <li>・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。</li> <li>・ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。</li> <li>・仲間と連動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。</li> <li>・相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。</li> <li>・ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールをとらえることができる。</li> <li>・打球のパウンドやコースに応じて、タイミングを合わせてボールを捕ることができる。</li> <li>・投球では、コースや高さをコントロールして投げることができる。</li> </ul> <p>【思考判断表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。</li> <li>・練習やゲームの場面で、チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を提案することができる。</li> <li>・球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。</li> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。</li> <li>・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとすることができる</li> <li>・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができる。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 16 |
| 3<br>学<br>期 | <p>・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p>   | <p>・選択種目③（バドミントン、テニス、アルティメット）の基本およびゲーム【2単位】</p> <p>・サッカー、バレーボールの基本およびゲーム【1単位】</p>  | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シュートやトライをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動すること</li> <li>・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。</li> <li>・ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。</li> <li>・仲間と連動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。</li> <li>・相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。</li> <li>・ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールをとらえることができる。</li> <li>・打球のパウンドやコースに応じて、タイミングを合わせてボールを捕ることができる。</li> <li>・投球では、コースや高さをコントロールして投げることができる。</li> </ul> <p>【思考判断表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。</li> <li>・練習やゲームの場面で、チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を提案することができる。</li> <li>・球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。</li> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。</li> <li>・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとすることができる</li> <li>・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができる。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 30 |
|             |  |  |   |   |   |   | 合計 |















高等学校 令和8年度 (3学年用) 教科

外国語 科目 英語総合演習

教科: 外国語 科目: 英語総合演習 単位数: 2 単位  
 対象学年組: 第 3 学年 1 組 ~ 8 組  
 教科担当者: ( 組: ) ( 組: ) ( 組: ) ( 組: )  
 使用教材: ( Make Progress in English Reading (エミル出版) など )

教科 外国語 の目標:  
 【知識 及び 技能】 ことばの知識・技能の習得に加えて、豊かな言語観を育成する。  
 【思考力・判断力・表現力】 豊かな文化観と真の国際理解のための資質・能力を養う。  
 【学びに向かう力、人間性等】 多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

| 【知識及び技能】                             | 【思考力、判断力、表現力等】                                     | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--------------------------------------|--|--|
| ・音読をたくさん行い、英語の感覚を養う<br>・常に語彙力増強を意識する | ・一度見た単語やイディオム、慣用表現などは忘れないように工夫してまとめ、他の場面でも使えるようにする | ・予習と復習を欠かさず行い、難しくても必ず自分の解答を用意して授業に臨む<br>・時間を測って演習問題を行い、スピードを意識する |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容                             | 領域   |   |          |          |   | 評価規準 | 知  | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |    |
|-------------|-------------------------------------|--|---|----------|----------|---|------|--|---|---|------------------|----|
|             |                                     | 聞  | 読 | 話<br>(や) | 話<br>(発) | 書 |      |  |   |   |                  |    |
| 1<br>学<br>期 | ・テキストの語彙・表現を復習しながら、様々な分野の英文を読む力を養う。 | ・指導項目<br>長文読解、文法演習、語彙力増強<br>・内容<br>長文読解を主とした問題演習形式 | ○ | ○        | ○        | ○ | ○    | 【知識及び技能】<br>小テスト、定期考査<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>授業中の教員からの問いに対するの回答等、定期考査<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>予習、定期考査 | ○ | ○ | ○                | 8  |
|             | ・構文をしっかり捉え、英文を正確に解釈する力を養う。          | ・指導項目<br>長文読解、文法演習、語彙力増強<br>・内容<br>長文読解を主とした問題演習形式 | ○ | ○        | ○        | ○ | ○    | 【知識及び技能】<br>小テスト、定期考査<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>授業中の教員からの問いに対するの回答等、定期考査<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>予習、定期考査 | ○ | ○ | ○                | 8  |
|             | 定期考査                                |  | ○ | ○        |          |   | ○    |  |   |   |                  | 1  |
|             | ・理解した内容を正確かつ簡潔に英語・日本語で表現する記述力を養う。   | ・指導項目<br>長文読解、文法演習、語彙力増強<br>・内容<br>長文読解を主とした問題演習形式 | ○ | ○        | ○        | ○ | ○    | 【知識及び技能】<br>小テスト、定期考査<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>授業中の教員からの問いに対するの回答等、定期考査<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>予習、定期考査 | ○ | ○ | ○                | 8  |
|             | ・読んだ英文の大意要約ができる力を養う。                | ・指導項目<br>長文読解、文法演習、語彙力増強<br>・内容<br>長文読解を主とした問題演習形式 | ○ | ○        | ○        | ○ | ○    | 【知識及び技能】<br>小テスト、定期考査<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>授業中の教員からの問いに対するの回答等、定期考査<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>予習、定期考査 | ○ | ○ | ○                | 8  |
| 定期考査        |                                     | ○  | ○ |          |          | ○ |      |  |   |   | 1                |    |
| 2<br>学<br>期 | ・難易度の高い様々な分野の英文を読む力を養う。             | ・指導項目<br>長文読解、文法演習、語彙力増強<br>・内容<br>長文読解を主とした問題演習形式 | ○ | ○        | ○        | ○ | ○    | 【知識及び技能】<br>小テスト、定期考査<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>授業中の教員からの問いに対するの回答等、定期考査<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>予習、定期考査 | ○ | ○ | ○                | 8  |
|             | ・よりすばやく正確に読解し表現する力を養う。              | ・指導項目<br>長文読解、文法演習、語彙力増強<br>・内容<br>長文読解を主とした問題演習形式 | ○ | ○        | ○        | ○ | ○    | 【知識及び技能】<br>小テスト、定期考査<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>授業中の教員からの問いに対するの回答等、定期考査<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>予習、定期考査 | ○ | ○ | ○                | 8  |
|             | 定期考査                                |  | ○ | ○        |          |   | ○    |  |   |   | 1                |    |
|             | ・演習問題を多く取り入れ、更なる実力の伸長を図る。           | ・指導項目<br>長文読解、文法演習、語彙力増強<br>・内容<br>長文読解を主とした問題演習形式 | ○ | ○        | ○        | ○ | ○    | 【知識及び技能】<br>小テスト、定期考査<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>授業中の教員からの問いに対するの回答等、定期考査<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>予習、定期考査 | ○ | ○ | ○                | 8  |
|             | ・演習問題を多く取り入れ、更なる実力の伸長を図る。           | ・指導項目<br>長文読解、文法演習、語彙力増強<br>・内容<br>長文読解を主とした問題演習形式 | ○ | ○        | ○        | ○ | ○    | 【知識及び技能】<br>小テスト、定期考査<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>授業中の教員からの問いに対するの回答等、定期考査<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>予習、定期考査 | ○ | ○ | ○                | 10 |



高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 情報 科目 情報Ⅱ

教科: 情報 科目: 情報Ⅱ 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者: (1～8 組: )

使用教科書: (7 実教 情Ⅱ天良和男、森純一郎、春日井優 編 実教出版 )

教科 情報 の目標:

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅱ の目標:

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|--|---|
| 多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータ活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めようとする。 | 様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。 | 情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|---|--|---|---|---|----------|
| <p>情報社会の進展と情報技術</p> <p>【知識及び技能】<br/>情報技術の発展の歴史を踏まえ、情報社会の進展、コミュニケーションの多様化、人の知的活動への影響について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>情報技術の発展や情報社会の進展を踏まえ、将来の情報技術と情報社会のあり方、コンテンツ創造と活用の意義、情報システムの創造やデータの活用意義について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>情報や情報技術を適切に活用することを通して、法規やセキュリティを確保しようとする態度、将来の情報技術や情報社会にあり方について創造しようとする態度を持つ。</p> <p>定期考査(レポート)</p>   | <p>&lt;指導事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報技術による社会や生活の変化</li> <li>情報社会と情報セキュリティ</li> </ul> <p>&lt;教材&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書</li> <li>副教材</li> <li>PC教室でのデジタルワークシート</li> </ul>                           | <p>【知識及び技能】<br/>情報技術の発展の歴史を踏まえ、情報社会の進展、コミュニケーションの多様化、人の知的活動への影響について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>情報技術の発展や情報社会の進展を踏まえ、将来の情報技術と情報社会のあり方、コンテンツ創造と活用の意義、情報システムの創造やデータの活用意義について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>情報や情報技術を適切に活用することを通して、法規やセキュリティを確保しようとする態度、将来の情報技術や情報社会にあり方について創造しようとする態度を持つ。</p>  | ○ | ○ | ○ | 14       |
| <p>コミュニケーションとコンテンツ</p> <p>【知識及び技能】<br/>多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性との関係について理解し、文字・音声・静止画・動画などを組み合わせたコンテンツを制作する技能を身に付けるとともに、さまざまな手段で適切かつ効果的に発信する方法を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>目的や状況に応じて、コミュニケーションの形態を考え、文字、音声、静止画、動画などを選択し、組み合わせを考えると同時に、発信の効果や影響を考え、情報デザインに配慮してコンテンツを制作し、発信手段やコンテンツを評価改善する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>目的や状況に応じ、適切かつ効果的にコンテンツの内容や発信方法を考えようとする態度、影響を考え得ようとする態度、評価改善しようとする態度を養う。</p> <p>定期考査(レポート)</p> | <p>&lt;指導事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツの制作</li> <li>Webサイトによる情報発信</li> </ul> <p>&lt;教材&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書</li> <li>副教材</li> <li>PC教室でのデジタルワークシート</li> </ul>                                  | <p>【知識及び技能】<br/>多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性との関係について理解し、文字・音声・静止画・動画などを組み合わせたコンテンツを制作する技能を身に付けるとともに、さまざまな手段で適切かつ効果的に発信する方法を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>目的や状況に応じて、コミュニケーションの形態を考え、文字、音声、静止画、動画などを選択し、組み合わせを考えると同時に、発信の効果や影響を考え、情報デザインに配慮してコンテンツを制作し、発信手段やコンテンツを評価改善する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>目的や状況に応じ、適切かつ効果的にコンテンツの内容や発信方法を考えようとする態度、影響を考え得ようとする態度、評価改善しようとする態度を養う。</p> | ○ | ○ | ○ | 16       |
| <p>情報とデータサイエンス</p> <p>【知識及び技能】<br/>多様かつ大量のデータの存在やデータの活用の有用性、データサイエンスが社会に果たす役割について理解し、目的に応じた適切なデータの収集や整理、整形、モデル化、処理について理解し技能を身に付けるとともに、結果を基にモデルを評価改善することの意義と方法を理解し技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>目的に応じて適切なデータを収集し、整理し、整形するとともに、将来の減少を予測したり複数の現象間の関連を明らかにするために、適切なモデル化や処理、解釈、表現を行い、評価し、改善する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>データを適切に扱うことによって、情報社会に主体的に参画しその発展に寄与しようとする。</p>  | <p>&lt;指導事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データの活用の重要性</li> <li>データの収集と整理</li> <li>データの蓄積と活用</li> <li>データの分析</li> </ul> <p>&lt;教材&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書</li> <li>副教材</li> <li>PC教室でのデジタルワークシート</li> </ul> | <p>【知識及び技能】<br/>多様かつ大量のデータの存在やデータの活用の有用性、データサイエンスが社会に果たす役割について理解し、目的に応じた適切なデータの収集や整理、整形、モデル化、処理について理解し技能を身に付けるとともに、結果を基にモデルを評価改善することの意義と方法を理解し技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>目的に応じて適切なデータを収集し、整理し、整形するとともに、将来の減少を予測したり複数の現象間の関連を明らかにするために、適切なモデル化や処理、解釈、表現を行い、評価し、改善する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>データを適切に扱うことによって、情報社会に主体的に参画しその発展に寄与しようとする。</p>                      | ○ | ○ | ○ | 13       |



年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間

科目： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： )

使用教科書： ( 『課題探究メソッド2nd Edition よりよい探究活動のために』 (啓林館) )

教科 総合的な探究の時間

の目標：

- 【知識及び技能】 課題の発見と解決に必要な知識および技能を身に付け探究の意義や価値を理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に必要な情報を収集して分析し、論理的な提言内容を表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自己の在り方生き方を考え、社会の形成者としての自覚をもち社会に貢献しようとする。

科目 総合的な探究の時間

の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|--|--|
| 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。 | 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を収集し、整理・分析してまとめ、それらを表現することができる。 | 探究に主体的に取り組むとともに、他者との協働活動を通じて、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|--|---|---|---|---|----------|
| オリエンテーション<br>【知識及び技能】<br>・オリエンテーション<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・今年度の課題内容の理解と、個人の取組み目標の設定<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・課題に主体的に取り組む、理解を深めようとする。                               | ・オリエンテーション<br>・講義動画サイトへの利用者登録<br>・iPad・Classiの活用   | 【知識・技能】<br>今年度の授業内容、課題内容、提出方法を理解しているか。<br>【思考・判断・表現】<br>課題内容の理解と、個人の取組み目標の設定ができていないか。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>課題の目的を理解し、主体的に課題を作成できているか。  | ○ | ○ | ○ | 2        |
| 1 学期<br>探究活動（校外学習での課題）<br>【知識及び技能】<br>校外学習での調査内容、記録の取り方<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>校外学習での課題の作成<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>校外学習での課題に主体的に取り組む                                | ・ClassiNOTEでの課題の提示<br>・ClassiNOTEでの課題の作成および提出<br>・iPad・Classiの活用                                       | 【知識・技能】<br>校外学習での行動計画書に基づき、課題のために必要な調査を行う。<br>【思考・判断・表現】<br>校外学習での課題に必要な記録をとり、課題を作成する。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>課題の目的を理解し、主体的に課題を作成できているか。 | ○ | ○ | ○ | 6        |
| 大学での研究内容の調査（1）<br>大学での研究内容の分析（1）<br>【知識及び技能】<br>講義動画の選択および視聴方法<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>視聴した講義動画の内容の記録の取り方<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>講義動画を視聴し、視聴した講義の内容をもとに課題に主体的に取り組む。 | ・ClassiNOTEでの課題の提示<br>・講義動画サイトへのログイン方法および視聴する講義の選択方法について<br>・ClassiNOTEでの課題の作成および提出<br>・iPad・Classiの活用 | 【知識・技能】<br>講義動画の選択および視聴方法が理解できているか、<br>【思考・判断・表現】<br>視聴した講義動画の内容の記録がとれているか。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>課題の目的を理解し、主体的に課題を作成できているか。            | ○ | ○ | ○ | 9        |
| 進路講演会   |  |   |   |   |   | 1        |

|             |  |   |  |   |   |   |    |
|-------------|--|---|--|---|---|---|----|
| 2<br>学<br>期 | <p>大学訪問<br/>大学での研究内容の調査（2）<br/>大学での研究内容の分析（2）</p> <p>【知識及び技能】<br/>興味のある研究室についてホームページや大学訪問を通して情報を得る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>研究環境について情報を収集し、レポートにまとめる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>興味のある研究室の研究内容、研究環境の調査に主体的に取り組む。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ClassiNOTEでの課題の提示</li> <li>・大学訪問についてのガイダンス</li> <li>・自分の興味に合った研究室の探し方についての説明</li> <li>・ClassiNOTEでの課題の作成および提出方法</li> <li>・iPad・Classiの活用</li> </ul> | <p>【知識・技能】<br/>調査対象とする研究室の選択および研究室に関する調査の方法が理解できているか。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>調査した研究室の概要についての記録がとれているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>課題の目的を理解し、主体的に課題を作成できているか。</p>                          | ○ | ○ | ○ | 12 |
|             | <p>調査内容の発表の準備<br/>調査内容の発表</p> <p>【知識及び技能】<br/>興味のある研究室についてホームページや大学訪問を通して情報を得る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>研究環境について情報を収集し、レポートにまとめる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>興味のある研究室の研究内容、研究環境の調査に主体的に取り組む。</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ClassiNOTEでの課題の提示</li> <li>・発表用のレポートの作成の指導</li> <li>・ClassiNOTEでの課題のクラス内の相互点検の方法の説明</li> <li>・iPad・Classiの活用</li> </ul>                             | <p>【知識及び技能】<br/>興味のある研究室についてホームページや大学訪問を通して課題に必要な情報を得られているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>研究環境について情報を収集し、レポートにまとめられているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>課題の目的を理解し、主体的に課題を作成できているか。</p>          | ○ | ○ | ○ | 6  |
| 3<br>学<br>期 | <p>3年間の「総合的な探究の時間」の振り返り</p> <p>【知識及び技能】<br/>高校における3年間の「調査探究活動」と進学先の研究へのつながりについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>高校3年間での自己の成長をふり返り、今後の自身のあり方や生き方を考える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>調査探究活動を振り返り、課題に主体的に取り組む。</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ClassiNOTEでの課題の提示</li> <li>・発表用のレポートの作成の指導</li> <li>・ClassiNOTEでの課題のクラス内の相互点検の方法の説明</li> <li>・iPad・Classiの活用</li> </ul>                             | <p>【知識及び技能】<br/>高校における3年間の「調査探究活動」と進学先の研究へのつながりについて理解できているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>高校3年間での自己の成長をふり返り、今後の自身のあり方や生き方を考えられているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>調査探究活動を振り返り、課題に主体的に取り組む。</p> | ○ | ○ | ○ | 3  |
|             | 合計   |   |  |   |   |   | 39 |